

森友学園事件

政府と
メディアの

幕引き許さない!

安倍晋三総理・昭恵夫人の介在で、国有財産が不当に売却された「森友」疑惑。事件の解明に大きな役割を果たしたパネリストによって真相がリアルに語られた。

パネリスト

コーディネーター



弁護士 阪口徳雄

「国有地の低額譲渡の真相解明を
求める弁護士・研究者の会」代表



著述家 菅野 完
籠池康典さんに密着取材



日本共産党衆議院議員
宮本岳志

国会での鋭い質問で事件の
真相に迫った



豊中市会議員 木村 真
「森友」の土地の情報公開で
事件の発覚に貢献



超満員の400余人 (西宮市立 勤労会館大ホール)

NHKは政治権力から自立を!

NHK問題を考える会(兵庫)

ニュース No.41 2017年7月

〒650-0022

神戸市中央区元町通 6-7-6-5F

電話・FAX(078)351-0194

<http://nhkwatchers.web.fc2.com/>

阪口 コーディネーターの醍醐先生がよんどころないご都合で来られない、ということで醍醐先生を目当てで来られた方には非常に申し訳ないのですが、私は2軍のコーチをやっていたんですけれども、急遽、1軍の監督をやれということで、変な年寄りが出てきたということでございます。もともと予定はしていなかったので進行についてはまずい点があるとは思いますが、よろしくご協力のほどお願いします。(会場 拍手)

阪口 最初に木村さんから、この事件をどういう理由で取り上げたのか、木村さんの今の思いについて簡単にご報告をお願いします。(会場 拍手)

森友をとりあげたきっかけ・今の思い

木村 木村真(まこと)と申します。大阪の豊中で市会議員をやっています。私の今の思いは、「これはもはや疑惑ではない。疑いのレベルを超えて事実である、残る問題はただ一つ、しかるべき人物にしかるべき形で責任を取らせること」です。それを言ってしまうと身も蓋もないので、森友問題で調べ始めたきっかけについて、簡単にお話します。森友が小学校を建てようとしていた土地、あそこは、もとは道挟んだ両側に広い国有地があり、豊中市としてはその両方を国から無償で貸与を受けて、公園として整備したいと考えていたのです。そんな広い国有地が何で出来たかという、あそこは伊丹空港、大阪国際空港の飛行機の着陸コースの真下に当たっていて、昔は爆音で窓ガラスがビリビリ震えると電話もできない、テレビの音も聞こえないという状態で、人が住める状態ではないということで、移転、立ち退きをどんどん進めていったのです。それは国の事業として。また、豊中市としても、移転、立ち退きが進んでいくと虫食い状態になっていくので、その土地を換地してまとめて、密集市街地の区画整理事業をやっていた。国にとっては空港の対策として、豊中市は密集市街地の区画整理として、ほぼ同じ事業を一体となって進めてきたのです。70年代からやっていたんですけれども、その過程で豊中市は、立



コーディネーター
阪口徳雄さん

ち退きの結果出来たまとまった土地、国有地をただで借りて公園として整備したいという希望をもっていました。豊中市は、公園の完成予想図を載せたパンフレットを作って、立ち退きの交渉をする際に「公園にするので、立ち退きにご協力いただけませんか」という説明もしていました。そういう経過からすると、少なくとも担当者レベルでは「無償貸与で」という話がついていたに違いない。残念ながら、20何年、30年も前となってくると、国も豊中市も当時の担当者がもうおりませんので、よくわからんのですけれども、ところが、2000年代頃から国が「無償貸与なんかできません。使いたいんだったら2010年度までに買って下さい、買えへんのやったら売却する、どないすんね

ん？」ということで、豊中市としてはどないする？と。道の両側、それぞれ1ヘクタールぐらいの土地ですので、全額で25億、30億ぐらいの金額になりますので、予定してなかった30億円、ポンと出すなんてとても無理だということで、西側半分をあきらめて東側半分だけを買ったのです。買った土地は、いま公園になっています。豊中市には14億円で売ったという土地です。

森友の土地は豊中市があきらめた土地

森友が小学校を作ろうとしている土地は、本来は公園として整備したいと思っていたのに、泣く泣く買うのをあきらめた土地なので「あれが何になるのや、どこが買って何ができるんやろな」と、気になっていた場所だったのです。そこに工事の囲いができまして、たまたま通りかかったとき小学校の横断幕が出ていて「あ、学校か、よかった」とそんな感じやったんです。ただ、一方で塚本幼稚園が小学校を作る、それも豊中市内にできるらしいという話も聞いていたので、改めて見に行ってみると「瑞穂の國記念小學院」という、まずその学校の名前ですね、それと「瑞穂の國」の國と「小學院」の學が旧字体で書いてあるんですね。それでよくよく見たら、その横断幕みたいな横に「生徒募集」のポスターが2枚貼ってあった。そのポスターは、小学校の児童募集というよりも、単純にデザインが赤を

ベースにした、どっちかというと神社の秋祭りというような感じの…、(会場 笑)

びっくり仰天、公園にしたかった土地に 教育勅語の小学校

木村 ポスターが貼ってあって、よく見たら、教育勅語が書いてあった。それと神社の鳥居。多分、靖国神社の鳥居、「これはまたものすごい、やっぱり塚本幼稚園のや。ええ？っ」という感じで。で、ネットで調べてみたらまさにそれだったのです。その時点で、すでに安倍昭恵さんが名誉校長になることも書いていました。理事長の籠池さんという人が、どうも「日本会議」の関係者らしいこともわかりましたので、いや、これはまたとんでもない学校ができる。率直に言えば、「何とかつぶされへんもんか」と思ったんです。インターネットを見てびっくりしたんですが、「木村というのはけしからん反日左翼だ、学校つぶしたいみたいなこと言っている、教育の自由への介入や」と書いてあったんです。「教育勅語」は徹頭徹尾、存在自体が憲法違反です。「憲法や教育基本法に反しない限り教材として使っても構わない」という閣議決定もありましたけれども、存在そのものが憲法違反ですので、それを暗唱させるなんてあり得ないことだし、はっきり言って教育内容からして許されない、学校教育法にも、教育基本法にも、もちろん憲法にも違反する学校なので「その学校許されない、開校させてたまるか」というのは、これは当然のことです。私、市議員で公務員ですので、憲法順守義務があります。「そんな学校が自分の地域にできることは許されへん、つぶしてやる」と考えたというのは公務員としての責務であると(笑)思っています。(会場 笑)

何かうさん臭いことがある？かも、

木村 その時点で安倍昭恵さんが名誉校長とか、理事長の人が「日本会議」の関係者らしいってわかっていましたので、「これはひよっとすると土地の取得をめぐる何かうさん臭いことやっているかもしれん」ということで、土地の登記を挙げたわけです。去年の5月のことです。売買契約が6月なので、そのときはまだ貸付けの状態でした。土地の所有者が運輸省になっていたんで、「あれ？おか

しいな」と。工事の囲いができて、建物はまだ立ち上がってなかったのですが、基礎工事も始まっていたので、近畿財務局に電話かけましたら、イケダさんという(その後雲隠れして出てこない)人が電話口に出てきて「貸します」と。その時点でまず「やっぱりおかしいな」と。豊中市に対しては「貸すなんてできない、買ってください」という話だったから、「森友には何で貸してるんだろう」と思ったわけなんです。それで、「いくらで貸しているんですか」と尋ねたら、「それは言えません」と。それで、近畿財務局に出向いて正式の情報公開の手続きで開示請求したわけなんです。出てきたのが金額や一部の条文が黒塗りだったのです。そこで「完全におかしい」と確信したわけなんです。金額を隠すのは、およそ考えられないこと、国有地は国民の財産ですので。それで身近な親しい人たちに「黒塗りで出てきた、絶対おかしいからみんなで追及しません



豊中市議員
木村 真さん

か」と声かけて8月31日に1回目のミーティングをやりました。その時、同じ市議会の山本一徳(いっとく)さんという共産党の議員が来てくれて、市民グループと情報の共有と意見交換をしながらやってきたんです。そのあとで、「売却したらいい」という話を聞きましたので、売買契約書の開示請求をしました。

やっぱり黒塗りで出てきた。肝心かなめの売却金額が黒塗りになっていて、後ろのほうの第42条は、1ページまるごと真っ黒けになっているところもありまして、何やらなど。財務省の標準契約書がありますので、それと突き合わせて見てみても、そんな長い条文自体ないのです。あとになって出てきたのは、ゴミがあるとか、瑕疵担保責任の免除について書いてあったんですがその時はわからなかった。財務省の職員のイケダさんには「国民の財産を売って金額黒塗りって、こんなん許されると思ってんのか、あほちゃう？」という感じで、「裁判やるから覚悟しとけ」みたいなこと言ってたんです。そのあとすぐにビラ作って配り始めました。「国有地を売却して金額は非公開。売却先の名誉校長は安倍昭恵さん。これ、おかしいと思いませんか」と。結構、反響もあってビラ読んだ方から電話かかってきたりしたんです。これは広げることができれば絶対大きな問題になると思って、マスコミに情報を提供も

して、毎日新聞、朝日新聞、共同通信、NHKの人なんかは話を聞きに来てくださったので、黒ぬりのほか、いくつか怪しい材料も情報提供しましたら「なるほど、これはおかしいね、ちょっと調べてみるわ、独自に取材してみるわ」とおっしゃってたんですね。ところが、その後なかなか報道されないんです。(会場 笑)

マスコミも議員も取り上げない

木村 それで、国会の野党の議員には情報提供もしたんですが、ほとんど反応もない、で、どうしようかと。今日は主催が「NHK問題を考える会」ということなので、ジャーナリズムも大きなテーマになっていると思うので、言っちゃいますけど、(会場 笑)朝日放送のディレクターの人と少し話したときのことです。

木村 塚本幼稚園をやめさせられた保護者の方が、僕のブログを見て「よくぞ書いてくれました」と事務所にお越しになったときに、ABCの人がカメラも入れてその人を密着取材してはったんです。そのディレクターに話したら「相手が相手なんで、ちょっと上も慎重なってるんです」と。それで「報道の出し方については考えなあかんなと思ってるとこなんです」とか言うんですね。言うことが面白くて、「どっか週刊誌が書いてくれたらやりやすいんですけど…」と。(会場 笑)

木村、 結局、目立ちすぎるのは嫌だということらしいんですね。普通だったら、特ダネと思うはずですけど。結局、報道してくれない。市民グループがピラまくぶんにはいいけども、大手メディアが報道するには難しいのになって思って、それだったら、具体的な動きが必要だなと、去年の9月には「裁判やるから覚悟しとけ」と言ったので、今年2月8日に「情報公開を求める」という裁判を起しました。

裁判が大きな反響、一気に事件の解明に

そして記者会見すると、計算どおり新聞やテレビが報道してくれて、特に朝日新聞は独自の取材を交えて、大阪ではびっくりするぐらい大きく報道されました。東京ではその半分ぐらいで。2月8日に提訴、2月9日に新聞に載り、2月9日から国会議員が聞き取り始めて、2月10日には、

もう黒塗りのない契約書が示されて、金額が豊中市に売った土地と比べると平方メートル単価で、10分の1の1億3400万円で売っていたことがわかった。翌週からは国会で追及が始まり、ものすごい大きな問題になっていったんですね。その後についてははっきり言って僕もテレビや新聞見ながら「へえ？そうやったんや、うわあ、これひどいな」という感じで、(会場 笑)見てるだけという感じなんです。

木村 最初のきっかけはそういうことです。その後、3月22日、近畿財務局に「背任容疑だ、森友学園に不当に利益を供与した、市民・国民に損害与えた背任である」と刑事告発をしました。あとは豊中で街頭宣伝を続けて今に至るのです。事のきっかけと経過はそういう感じですよ。

はい、ひとまず。(会場 拍手)



衆議院議員
宮本岳志さん

阪口 ありがとうございます。うさん臭いという、木村さんの最初の問題提起がなかったら恐らくこれだけ大きな問題にならなかったでしょう。そういう面では非常に感謝したいと思います。

(会場 拍手)

阪口 国会で鋭く追及していただいている宮本議員にお願いします。

パネラーはベストチョイス

宮本 どうも皆さん、ありがとうございます。今日のこのシンポジウム、木村さん、私、そして菅野さんと、まさにベストチョイスだと思っております。

(会場 拍手)

宮本 今回の国会は加計問題が一番の山場になっておりまして、昨日、羽田の空港で自民党の衆議院法務委員会の筆頭理事がおったので「いやもう大変なことになりましたね」と僕が言ったら、「いや、一番最初に矢を放ったのは先生じゃないですか」と言うから「いや、誰が最初に矢を放ったかが問題じゃない。矢を放たれたらこんなことになるようなことをするのが間違ってるんだ」と申し上げたわけですよ。(会場 拍手)

宮本 それは民進党も頑張ったし、われわれも頑張った。また、市民の皆さん、木村さん含めて、さまざまな方々が頑張ってここまで追い詰めてきたという点ではみ

んなの仕事だったことをまずご報告したいと思うんです。

(会場 拍手)

宮本 木村さんがおっしゃったとおりです、既に全容は、ほぼ解明された。私どもの「前衛」という雑誌7月号に「森友学園事件とはどのような事件だったか」という論文を書きましたら、お叱りがありまして「もう追及は終わりか」という声がありまして、(会場 笑)

宮本 いや、もちろん、安倍さん辞めてないわけですから追及が終わったわけではありませんが、もうあとは辞めることしか残ってない。安倍昭恵さんの証人喚問しか残ってないんですよ。(会場 拍手)

会場・男性 そうだ！

事件は解明された、総理は「やめる」と言った

宮本 私は2月15日に初めて、国会の財務金融委員会がこの問題を取り上げました。それ以来12回、連続的に森友事件を追及してきて、もう黒であることが確信できるとまで明らかにしたと思っています。物証もすでに示された。「違う」と言うなら証人喚問の場に出てきて「違う」と言わなければ、籠池さんは証人喚問で語ったわけですから、安倍昭恵さんが出てこないことは通らないし、それができないというのであれば、「私や妻や安倍事務所がかかわっていたら、総理はもちろん国会議員も辞める」と言ったんですから、これ、辞めてもらわなければ筋が通らないと、こういう具合だと思っております。(会場 拍手)

国有地 金額さえかくすとは

宮本 今、木村さんからお話がありましたように、国有地を売却しときながら、金額すら明らかにしてなかったのです。さいわい、私たち、野党共闘でやっておりますから、豊中でも、山本いつとくという共産党議員が木村さんと一緒に追及をやっていた。山本いつとくさんから共産党の国会議員団にその知らせがありました。情報公開求めて裁判までやるという話を聞きました。これは国有地ですから、財務省の管轄です。私、国会で財務金融委員会という委員会にいます。(財務省理財局長は佐川宣



会場風景

寿)国有地は国民全員の共有財産です。共有財産を処分・貸し付けるときには、本来は「国民の皆さんにこの額でよろしいか、売りましたけれどもご納得いただけますか」と、公開するのは当たり前であって、皆さんからお預かりした土地を売ったり貸したりしときながら、「いくらであるか聞くな」と(笑)、そんなばかな話はないわけです。これを裁判するまでもなく明らかにするのは当然だと、論戦が始まりました。登記簿謄本取って見たら、この登記簿には「瑕疵担保特約」という特約がついていたんです。国が売り払ったわけですけど、約束違反があったら、国がもう一回買い戻すという特約がついていて、間抜けなことに、この特約には買い戻すときの額は1億3400万円と書いていたわけです。(会場 笑)

宮本 で、財務省呼んで、瑕疵担保特約で買い戻すのが1億3400万なのに、売却額が1億3400万でないことはないだろう、と迫りましたら、さすがに逃げきれないと思ったのか、財務省はとうとう1億3400万であることを認めざるを得なくなった。で、その途端に全部開示されて売買契約書も黒塗りが消えたものが出てきたと。そういう点では裁判するまでもなく、その黒塗り部分が明らかになったんですが、でも、なお、裁判は…、

木村 まだ続いている。

国民が納得しない二つの理由

宮本 続いているということですから、なかなかあげつない話です。この事件、すべて明らかになったというけれども、国民は全く納得してない。それは安倍さんが辞めてないんですから。国民が納得いかない大きな理由は、二つある。一つは、不動産鑑定価格が9億5600万の土地が8億2000万の値引きがされ、1億3400万で売られた、何で8億2000万の値引きをされてるのかといえ、

「ゴミが埋まったから」という話でした。これが「ほんまに埋まったのか、ほんまに取ったんか」という議論がありました。国会から山本いつとくさんに電話かけて「1万9500トンのゴミはダンブカーにしたら4000台

分になる。豊中の街を4000台のダンプカーが走ったか」と、聞きましたら「そんなものは見たことない。4000台も走ったら、街は渋滞や」と言った。ウソだとすぐわかるわけですよ、いくら強弁してみても。そういう点では、これが全くでたらめであることが明らかになっています。何でそんな値引きがされたのか。これが納得いかない一点ですね。もう一点は、そもそもこれだけ問題のある学校ですよ。土地だってそうやって国から借りたり買ったりするのに値引きを迫らなきゃなんない。お金がないんですよ。幼稚園しかやってないんですよ。その学校が小学校作りたいと申し出たら、大阪府の私学審議会は、「ハイハイ」と定例審議会では継続審議になったものを翌年、2015年の1月に、史上初の臨時審議会開いて(笑)、「条件つきで認可適当」という判断を下してやった。その頃のやり取りをずっと見ると、近畿財務局も大阪府の私学課、私学審議会も、とにかく森友学園の応援団ですよ。今でこそ、松井知事は「国が悪い、国に言われて仕方なくやったとか」言っていますが、もう手に手を取り合って、お互いに示し合せて、まさに手はずを整えて「こっちで決まったら、そっちでやってね、と。こっちでやることを前提に、そっちも条件整えといてね」とお互い、やり取りしながら応援してきたというのがこの事件の中身です。「何でそれほどこの学校を応援しなきゃならなかったのか」が、国民が納得いかないところですよ。

世の中になんか奇っ怪な話し

値引きの問題については何の根拠もなかった、菅野さんなどが明らかにした資料によると、メールのやり取りの中で「3メートルより深いここにはゴミは埋まってないので、こんな調査結果は出さないほうがいいですよ」ってなことやり取りしてたっていうんですから、ウソ八百であったことは明らかになります。ただただ1億3400万で売り払ってやるための値引きだったことが明らかになりました。1億3400万の根拠は、昨年4月6日に「有益費」というかたちであらかじめ国から森友学園に支払われた1億3200万というお金、この額で大体買い取れるように便宜を図ってやったということです。1億3200万の金渡しとして1億3400万で売ってやったんですから、差し引き200万で8770平方メートルの皆さんの財産が売り払われたと

いう計算になります。わずか200万で8770平方メートルの国有地を売ってくれるんだったら、誰だって手を挙げますよね、と大阪あたりで言いますと、大阪の人には面白い人が多いので、「宮本さん、わしは買わん」と。(会場 笑)

宮本 「何でですか」と聞いたら、「わしは200万円持ってない。」(会場 笑)

宮本 ただ、これはそんな話でもないんです。1億3200万の金もろといて1億3400万即金で買ったんだったら200万の金を用意しなきゃあきませんわね。そうと違うんですよ。買うほうは10年分割払いです。頭金2787万円入れたあとは毎年毎年1100万円ずつ10回払い。その最初の支払期日は今年の5月でしたから、まだ期日がきてない。その前に、話が破綻して払ってないですから、頭金だけ払っただけです。1億3200万もろといて2800万円弱払ったら、まだ1億円籠池さんの手元にお金が残っていることになります。1億円のお金もくれる。8700平米の土地もくれる。両方くれるという話だったら、「ご主人、あんたも文句なしに手挙げますやろ」って言うたら、「ほんまやな」と皆、手挙げますからこれは世の中になんか話です。こんな奇っ怪な取引がされたことは、政治の力が働かなければなりたたない。安倍昭恵さんを含む安倍官邸の意向が働いたことは、明瞭です。きっかけは名誉校長に就任した直後に安倍昭恵さんのケータイに「借地だけれども地代が高い、半額ぐらいにしてくれよ」とお願いをしようとした。そしたら昭恵さん、安倍首相と一緒にモンゴル、中東5カ国に行っていて留守電になっていたの、谷査恵子さんという付き人から電話があった。相談したら田村嘉啓理財局国有財産審理室長に問い合わせた答えがファックスで返ってきた。ファックスにはもちろんゼロ回答のような「ご希望に添えませんが」という言葉もあるけれども、「今後とも見守ってまいりたい、どんなことでもご相談ください」と書いていた。だから籠池さんは、翌年の3月に「地中深くからゴミ出てきたんや」と財務省の会議室で、ウソも含めてねじ込みに行って田村嘉啓と1時間半こもった。そこで「どうしてくれるんだ、あの方を侮辱しているのか」と言うた。「あの方って誰や」って聞いたら、「安倍首相のことです」と、言うてるわけです。「首相や首相夫人のご意向に逆らうことになるぞ」と迫って、そのあと、トントン拍子

で「神風が吹いて(籠池さんの言葉)」結局、この話がまとまった。結論的には2800万円ほどの頭金入れて、あと1100万円ずつ10年払いですから、1100万円は12ヶ月で割ったら月々93万円見当になります。前年の秋に「230万円ほどの地代が高いから半額に負けてくれ」と谷査恵子さん通じて頼んだら、93万円になったんですから、半額どころか半額以上、120点満点の結果になった。これが土地売却に伴う安倍昭恵氏、安倍首相自身の、まさに介在だった。

私学認可はなぜ降りたか

宮本 もう一つの、教育勅語を初めとする私学認可の問題ですが、これも安倍首相自身が、この学校を応援してきたことを言わなければなりません。私は、5月8日の予算委員会集中審議で、安倍首相に問いました。「最初にこの学校で講演する予定だったのは奥さんじゃないですね。あなたでしょう」と。(安倍首相とのかかわりについて)実は、歴史に残る「大阪2、2、6」という非常に有名な日づけがあります。(会場 笑)今から5年前、2012年2月26日のことです。

宮本 これは、「日本教育再生機構大阪」という、靖国教育、教育勅語教育を進める教育団体が大阪の地でシンポジウムを開いた日です。東京から「日本教育再生機構」理事長の八木秀次という、この人は有象無象の人だったんですが、今では首相官邸に置く教育再生実行会議の委員ですから、安倍さん子飼いの人ですが、この人がやってきて、当時、野党時代の安倍晋三元首相、元です、もやってきます。そして、松井大阪府知事と意気投合しました。ここで安倍首相は何と言っているか、「戦後レジームからの脱却だ。戦後レジームとは何かというと二つだ。憲法と教育基本法だ。私は第1次安倍内閣で教育基本法は脱却した。変えた」と。つまり、「愛国心を入れた」と。「残るは憲法だ。教育基本法は変えたけれども、それが現場に行き着く前に民主党政権になって、輿石さんなんかは民主党で牛耳ってるから現場の教員が反対したら進まなくなった。難儀なことだ」。ところが、「大阪の橋下さんや松井さんは、大阪府教育基本条例、大阪市教育基本条例作って、日の丸、君が代に盾突いたら首飛ばす、そうやって現場の教員に有無を言わず、私のやった教

育基本法どおりの愛国心教育をやってくれようとしている。私の考えを現場でやってきているのが大阪維新の皆さん、松井さん、橋下さんだ」と、そこまで言うて帰ったんです。そういう教育の路線に乗って籠池さんはこの教育勅語教育を始めたということでもありますから意気投合しているわけですよ。だから、その年(2012年)の9月には、首相が「私が行って講演します」と答えているわけです。ところが、何の因果か自民党総裁選で、再び総裁選に立候補することになったので、断りの電話を入れた。行くことになっているのを断るんだから、昭恵氏に代わってもらって、初めて電話で言葉を交わした、と。

「妻が妻が」じゃない、あんただろう

そこまで認めていますよ。だから、「妻が妻がじゃない、あんたじゃないか、これを進めてきたのは」と、追及した。(会場 笑)

宮本 ここが本当に大事なことであって、そこまで乗り気で進めてきたくせに、じゃあ、その「教育勅語教育」が国民に受け入れられるかといいますと、テレビでよくご覧になりましたよね。「安倍首相がんばれ、安倍首相がんばれ、安民法制国会通過、よかったです」と幼稚園の子どもが言ったら、みんな引くわけですよ、そんなことはひどすぎると。だから、あれが流れるたびに安倍内閣の支持率が下がっていく。これはかなわんと。だから、突然、答弁変えて、「こんなことは適切だと思わん。幼稚園の子どもたちに『安倍首相がんばれ』と言ってもらいたいとはユメユメ思ったことはない」と。(会場 笑)

国民世論が追いつめた

宮本 こう言い始めて、「いや、籠池さんはしつこい人だ。断ってるのに何度も何度も…」ということをやわざるを得なくなった。国民の世論に押されたんですよ。そして、籠池さんを切り捨てようとした。それ以降は籠池さんが勇気を持って語り始めた、証人喚問も開かれたわけでありました。そういう中で、この事件が次々と暴かれていったのは、国民世論がここまで追い詰めたんだと思っています。今のお話があったから思い出しのですが、教育勅語の教育で、教育勅語を教材に使っていいかどうかを、下村博文という文部科学大臣と相当突っ込んだやり取りをやりました。下村博文が「使っていいんだ」と言ったものを、「全部使っ

ていいとは言わない」というとこまで、答弁を押し戻すのに随分苦労しました。そのときの初等中等教育局長が前川喜平という人です。実はその当時、初等中等教育局長の前川さんが「教材に使うこともあり得る」と答弁したんですね。それで、下村博文を激しく詰めたうえで前川局長に「初等中等教育局長たる者が教育勅語を教材に使ってよいと答弁したのはあなたが初めてだ、撤回せえ」と言うたら「撤回いたします」と撤回、(会場 笑)「そのまま使っていてと言うたつもりはない」と言った。大臣と同じだと。こういうやり取りをやったもんですから、僕の頭の中にはずっと「前川喜平というのは下村博文と一緒にものすごく悪いヤツや」、という(会場 笑)頭があったんですが。

「面従腹背にも限度がある」と

宮本 つい最近、「面従腹背にも限度がある」とインタビューに答えた。(会場 笑)

宮本 「教育勅語をやれ、なんてのは当時から嫌やったけど、無理やり抑え込まれて言わされてきたが、面従腹背にも限度がある」と語っておられましたから、これはもう許してあげたいと思っています。

(会場 笑)。(拍手)。

宮本 また他の方に語っていただいて、足りないところがあればまた発言したいと思います。(会場 拍手)

阪口 続きまして、その後の新たな情報の提供は恐らく、菅野さんではないかというほど、問題を大きくしていただいたのが、この菅野さんではないか。(会場 笑、拍手)。

阪口 事件の結果も含めて、まず基本的な内容について報告していただきたい。あとでマスコミに公表されてないとも聞きたいと思います。

菅野 何か火つけみたいと言われてますけど。(会場 笑)

いっぱいのお運びでありがとうございます。(会場 拍手)

菅野 宮本先生に、先にこんなうまいことしゃべられたらしゃべりにくうてしゃあないんです。(会場 笑)

「俺が取ろう思うた笑い、全部持っていきやがったな、さ

すが国会議員やな」と。(会場 笑)

いきなり、まじめな話をするんですが、こっちから見ると皆さんの顔がよう見えるんです。僕もさっきから暑いから扇子使わしてもろうてますけども、皆さんも扇子とかうちわをうってはります。そのうちに何人かの方が「アベ政治を許さない」うちわをやってはるんです。2013、14年ぐらいから澤地久枝さんが「アベ政治を許さない」をやってきました。これ、金子兜太さんの筆になるもんなんですかね。恐らく、このうちわや標語が街頭やデモの現場やこういう集会で掲げられた数はのべ1億回以上を超えるでしょう。しかし、安倍政権の支持率は一向に下がらなかった。しかし、どうです？幼稚園の子が4人集まって「安倍首相がんばれ」って言うたら、こんなに支持率下がるんですよ。(会場 笑、拍手)

メディアの人は現実を直視できない

菅野 けったいなことやと思いませんか？これ、ほんまの話なんですけど、「安倍首相がんばれ」の、あのDVDは、塚本幼稚園にお子さんを通わせてはったお父さん、お母さんが手元にお持ちです。あのビデオは僕が見つけたわけじゃないんですよ。現場にいてはったお父さん、お母さんは、



著述家 菅野 完さん

もちろんそれを目撃してはるわけですね。「安倍首相ガンバレ、安倍首相ガンバレ」のDVDについては、僕が一番最初に記事にしました。記事がネットで公開された直後から僕の電話が鳴りやまないんです。鳴りやまない理由は一般読者からではないんですね。テレビ局の人とか新聞社の人からなんですね。何を言うてるかっていうと、失礼な話で、「菅野、おまえ、何でそんなうそをつくんだ、そんなことあり得ないじゃないか」って言うんですよ。要は、プロの報道各社の人は現実を直視することができなくなっているんですね。世の中がここまでひどくなっているんだということを、恐らく彼は直視できなかったんだろうと思います。ちなみに、そんな電話を掛けてきたのは、例外なくすべてのチャンネルからです。「NHK問題を考える会」でNHKをほめたくはないんですけども、NHKだけはまともでしたね。(会場 笑)。

菅野 何でかって、「われわれは基本的にネットの記事を信頼してないんですけども、万が一ウソでなければ映像を貸していただけませんか」ってへりくだってきたのはNHKだけです。あとは、みんな頭ごなしに、「ウソでしょう、何であんなこと書くんですか」っていう話なんです。そのくせ、それがほんまやとわかってから、どんだけあのDVD使うた？（会場 笑）

「日本会議」と安倍がすすめる教育路線

菅野 そんなんですよ。何でそのメディアの話のつけにしたかという、僕は、結局、メディアの中の人々が今までどうもさぼってたように思うんですね。宮本議員から話もありましたように、さっきの、2012年2月26日の「教育再生機構大阪」のシンポジウムですが、司会は「日本教育再生機構」の八木秀次です。パネラーは松井知事と、当時、元首相という肩書の安倍晋三であります。そのシンポジウムを企画をしたのが、今、維新で国対委員長している遠藤(敬)なんですね。当時、まだ府会議員やった。「日本教育再生機構」こそが育鵬社の教科書の執筆陣なんです。つまり、「日本教育再生機構」という組織が、われわれがいま認知するところの教育の右傾化の推進役であり、かつまた、裏方なんですね。それを一手に引き受けているわけです。で、「日本教育再生機構」のメンバーの80%以上は「日本会議」の人間なんです。ということは、これは「日本会議」と安倍さんが進めている教育路線なんです。一番最初に「安倍首相ガンバレ」という話をしましたが、何でそんな話をしたかという、この間、籠池さんといろいろお話をしてきました。衝撃的な証拠、衝撃的な証言はたくさん得られました。

近畿財務局と業者 立場が逆 なぜ？

(その中で)一番びっくりしたのは、去年3月、近畿財務局の人間が、豊中の土地を造成しているキアラ建設、キアラ設計と、藤原工業に近畿財務局からメールを送ってるんです。その最初のあいさつは「お世話になります、いつも『瑞穂の國記念小學院』実現にご協力いただき、ありがとうございます」と書いてあるんです。財務省の人間がですよ。籠池さんとか業者側が財務省の人に言うてるんやったらわかるんですけど、財務省の人間が業者にそういうこと言うてるんですね。これ、全く意味わからないです

よね。それも一番びっくりしたんですけども、安倍昭恵さんの100万円の話とか、現場に行って、ここで100万円渡された、



報告中の菅野 完さん

と聞いたら、もう渡したとしか思いようがないんですよ。で、北野郵便局へ行って「ほんまに100万円持ってきはりました？」と聞いたら、北野郵便局の職員が口をつぐむんですね。まるでハリウッド映画みたいですよ。(会場 笑)

菅野 昔の西部劇で、ガンマンが来たら銀行がシャッター降ろすやないですか、ガーと。あんなんで皆、口をつぐむんですよ。それも衝撃的でしたけど、一番衝撃的やったんは、籠池さんがまだ理事長時代ですね、「理事長、何で運動会で安倍首相ガンバレなんか言わしたん？」と聞いたら、ジイッと黙らはったんですよ、2分ほど。ようしゃべらはる人やのにジイッと黙らはるから、何で黙らはるかなと思ったら、やおら口を開けて、「受けるとおもてん。」と。(会場 笑)

今の時代、受けると思った

菅野 いや、ほんまに言わはったんです。これ、笑い事やなしに、ほんまにあの人は純粋に、「今の時代、この教育が受けるだろう」と思ってやったんです。あの人の思想、もちろんそれはありますよ。あの人が元来考えてこられたこと、あの人の人間性、あの人の対人スキルというか、ご人格。そういうものがベースにあることは、それはもちろんなんですけども、深い深い思想があって、そのやむにやまれぬ発露としてああいう教育がなされていたり、運動会で安倍首相ガンバレ、なんてことを言わしていたりというのではないんですよ。あの人は明確に「受けると思ってん、これが今の時代やと思ってん」と、言わはったんです。

えぐり出しているのは「人権」問題

実を言うと、僕がこの問題を取り組むきっかけは虐待問題からでした。今も土地取引問題よりも、あの幼稚園で行われた虐待の問題ほうが若干、性質としては重たいんじゃないかなあと考えています。ちょっと最初に立場を明らか

にしときますが、籠池さんと保護者ならば、僕は徹底的に保護者の立場に立ちますが、籠池さんと国とか社会であれば、僕は徹底的に籠池さんの側に立ちます。なぜかという、加計とちょっと違うのは、森友問題がえぐりだしているのは、いかにこの国が「人権」という原理原則を踏みはずすかということです。「人権」という原理原則を踏みはずすから籠池さんは幼稚園の子どもに「安倍首相ガンバレ」と平気で言わせるわけでしょ。幼児を政治闘争の場に引きずり出すわけでしょ？それは人権意識の欠如です、完璧に。ここにいる人はそうではないかもわかりませんが、3月の末に籠池さんが証人喚問に引きずり出されることを「当然や」と思ってるでしょ。当然じゃないですよ。だって、公人が説明責任果たしてないのに、何でいきなり私人を呼ぶねん？って話でしょ。人権意識が社会にないから、その声をメディア側も上げなかった。「珍獣 籠池東京に来る」みたいな感じだったでしょ。(会場笑)

菅野 籠池さんだけじゃないんですよ。われわれみんなが、メディアの消費者側も「人権」という軸で、あるいは「近代的な法治国家」という軸で、あの事件を眺められてないんですね。だから、僕は虐待の問題にこだわりたいんです。僕にとっては、それは鏡の表と裏、コインの表と裏なんですよ。「人権」というコインの裏側には、あの幼稚園で行われた虐待という問題。虐待というのは何も殴る蹴るだけを指すのではないんです。「安倍首相ガンバレ」と子どもに言わしたり、あるいは左側には時々、デモの現場で出会って大きな声で怒ってしまったんですけども、4歳ぐらいの女の子に「アベ政治を許さない」Tシャツを着せて歩いてたんですよ。これちょっと間違ってるなあと思ったんですね。それはもちろん、安倍政権に反対するデモなんで、そこへ子どもを連れてくるということはいかがなものかと僕は言わない。しかし、プラカードの一部に子どもをそうやって使うっていかがなものだろうか、これ、子どもを育てる親として思ったんですけども、やっぱりそれは精神的な虐待なんですよ。そういう広い意味での虐待がコインのこっち側にある。もう一つは2月の中頃以降、厳密には、2月の24日午後



映像は安倍昭恵さん

3時以降、籠池夫妻と籠池ファミリーが受けてきた扱いは、僕はどう考えても人権蹂躪だと思わざるを得ません。その人権問題、そのターニングポイントだった2月の24日はこれですね。

----- (映像開始) 衆議院予算委員会 -----

福島瑞穂 ちょうど先週、森友学園の国有地の売却の問題につきまして、この場で質問させていただきまして、その後、われわれも現地に行ったり、役所からさまざまな資料を集めて調査をしてまいりましたが、次から次へと数限りない怪しげな論点が出てまいりますので、今日は、その一部について明らかにしてまいりたい。まず、最初にテレビ東京の番組は、私自身も幼稚園の保護者の方から聞いた話であります。平成27年9月に森友学園の幼稚園で安倍昭恵総理夫人が講演をいたしまして、籠池理事長からその場で瑞穂の國記念小學院の名誉校長への就任を依頼されて、理事長が「拍手をしてくださーい」って言うのに促されて保護者の皆さんが拍手して、その場で受諾したという、そうした光景がテレビに映されております。ところが、昨日の午後、瑞穂の國記念小學院のホームページにあったこの名誉校長安倍昭恵先生、

安倍晋三内閣総理大臣夫人の挨拶が消えております。先週、私の質疑で「李下に冠を正さず」という言葉がありますが、奥様を含めて広告塔のようにホームページに出るのは控えられたほうがいいと思いますよと言ったんですけども、この間、こういう指摘を受けて、安倍昭恵夫人はこの学校の名誉校長をお辞めになったということでしょうか。

安倍総理大臣 この件については私への指摘ではなく、私の妻のことであろうと、このように思います。今、ご紹介いただいたんですが、私も妻から経緯を聞いたんですが、確かに名誉校長についての経緯はご紹介いただいたとおりであります。実はその講演の前の待合室において名誉校長になってくださいと頼まれて、実は妻はそこでは断ったそうであります。それは申し訳ないけれども、それはお受けできない。…

----- (映像終り) -----

菅野 腹が立つんで(映像)止めますけど、(会場 笑)

籠池ファミリーの転落 3ヶ月で

菅野 これ、2月24日です。この瞬間から、僕は籠池ファミリーの転落が始まったと思っています。この1週間前に民進党の福島議員が衆院の予算委員会だったと記憶しますが、安倍晋三にこの問題を初めて投げたときに出てきた答弁は、「籠池さんは非常に熱心な教育者で、その教育観は私の教育観と合致していると妻から聞いている」と言っていたんですね。その約1カ月後に、僕は籠池さん本人から「安倍首相ガンバレ、ガンバレというのが今の時代の空気に合ってるんだと思った」という証言を聞くことになるわけですが、これ、2人がおんなじこと言ってるんですね。安倍側にどんな思惑があったかは籠池さん側はわからんわけですよ。2月24日のこの質疑までは、安倍さんは国会答弁の中でも森友学園の籠池理事長なる人物は僕が理想とする教育を体現してくれている誠に「愛い(うい)ヤツじゃ」という態度やったんです。しかし、その間、どうも土地取引の背景に薄暗いものがあるぞと。どう確認しても、この土地取引は国民に説明しても納得がいかないことを、政府側は当初からわかってたんでしょから、(安倍首相は)財務省からブリーフィングを受けたんでしょね、この1週間の間。そこでこう答弁を変えてきたんだと思うんです。この答弁から(籠池さんの)転落が始まるんですね。3月になって証人喚問になりました。そこで籠池氏本人は、「事実は小説より奇なりであります」という名言を残すわけですが、実を言うと、僕はその言葉よりもあの証人喚問で出てきた名言がもう一つあったと思うんです。それは、維新の下地さんが言った、「いろんな人があんたにはしごをかけたんだ」と。「あんたが勝手にそのはしごを下りたんだ」っていうんですね。これ下地さん、森友事件の本質を言い尽くしてるんです。さすが大阪維新ですよ。(会場 笑)

はしごをかけたのはだれか

菅野 いろんな人が籠池さんにはしごをかけたんですよ。籠池さんは、そのはしごを上ったんですけども、どう上ったかっていうと、「よし、頑張ってるのはしごを上ろう」と主体的に上ったんじゃない

いんです。これはみんなちょっと勘違いしているところなんですけども、籠池さんにはしごをかけた人物が財務省の中にも運輸省の中にも、それから一番悪いやつは大阪府私学課の中にもいる。そこまでは確かなんですけども、そのはしごはまだ籠池さんは上りにくいのはしごやったんです。それは主にお金の面から上りにくいのはしごだったんです。しかし、その上りにくいのはしごに籠池さんの首根っこをつかんで「上れ」と押さえて、右手を持って、「ハイ1段」、左手を持って、「ハイ1段」とやったやつがいるんですね。僕は左手担当は財務省のイケダやと思ってるんですけども、右手担当は明らかにキアラ設計(キアラ建築研究機関)と藤原工業という業者です。

だれが土地のカギを握っているのか

これ、どのメディアも書いてないんですけど、先ほど、第1回の分割払いの期日は5月末だった。土地の問題、いろいろ仮差し押さえの問題とかありますけども、基本的に土地の売買契約は成立しています。建物の99%まで竣工しています。あとは校庭の整備工事を残すのみまで、あの土地はいついたわけです。しかし、テレビでも最近流れますように、あの土地の前に「安全第一」と書いたオレンジの三角形がかかったままになっていますね。何と不思議なことに、あの土地の入り口の鍵を持っているのは籠池さんではなくて藤原工業なんですよ。あれ、確かに仮差し押さえはされていますが、厳密に言うと森友学園のもんですよ。鍵を貸してもろたことないって言うんですよ。不思議やと思いませんか？森友学園の当代の理事長の町浪さんも先代の理事長の泰典さんも、ご長男の佳茂さんも奥さんの諄子さんも、鍵を貸してもろたことがないって言われるのです。現場を見に行くには常に誰かに許可を得てから行っていた。籠池さんは、施主さんですよ。木村先生と宮本先生がおっしゃるように9億円の土地が1億

円で売られたというか、実際はほぼ200万円で売られたってのが実態なわけですが、それでも大問題ですが、僕はここから先の仕事は、実を言うと、200万で手に入った国有地を今度は誰が誰にどんだけで売るんやっていう問題やと



映像は籠池夫妻と安倍昭恵さん

思ってるんです。だって、あの土地、今、宙に浮いてるんですよ。宙に浮いた 8000 平方メートルの土地という、時価にすれば 10 億円ぐらい、土地が、200 万円ですぐに手に入れた人がいるわけです。それはもともと森友学園なんですけども、しかし、この 200 万円さえ負担してないやつがいるんです。それはもちろん仕事はしたでしょう。工事はしたでしょう。

籠池さんは はめられた？

僕はどう考えても、籠池さんははめられたとしか思えないんです。もちろん、籠池さん本人には反省しなければいけない点はたくさんある。反省しなきゃいけない筆頭は幼稚園、保育園で行われていた虐待問題だと思っています。それから、昨日から大阪のメディアは、保育園の定数、職員員の定数が足りないという話で持ち切りなんだろうと思いますけれども、それはそれで是正はしていかなければいけないんですけれども、その一方で、やはり籠池さんは「ひょっとしてはめられたんちゃうかなあ」という視点でぜひ皆さんには見ていってもらいたいと思います。これからの報道、これから報道は数は減ってくると思いますけれども。ちなみに、これ、今のわが家の光景です。これだけの資料がうちにあるんですね。これだけの資料の中には、阪口先生も見ていただきましたけど、ボウリングデータ等々があります。メールの中で「ほんまは地下 3 メートル以下にゴミなんかねえんけど」、メールを業者がやり取りしてるのは事実ですが、ボウリングデータを見てみると、ほんまにゴミないんですよ。で、僕、「ほんまにゴミないのかな」と思って、とある関西地方の国立大学の地質学の先生のところに、このあいだ取材に行ってきたんです。「ゴミがあったら考古学がひっくり返る」と言われました。(会場 笑)

菅野 「確かにそやな」思って帰ってきたんですけど、ごみはなかったんです。ごみはなかったんですけどあった体にしてたんです。籠池さんがウソをつくる人かウソをつかない人か、僕は取材者なんで、人間、みんなうそつくので、籠池さんがウソをつかない人です、とは口を裂けても言えません。しかし、籠池さ

んは、「ほんまにゴミあってん。あってんて。俺、見たもん」と天真爛漫に言うんですよ。大体、ウソつかはるときの顔この人、今、ウソついてはるなってのはようわかるんですけど、「ゴミほんまにあってんで」って言うときの顔、どうもウソついてるように見えへんです。2016 年 3 月以降、9.9 メーターからごみが出てきたという話を藤原工業とキアラ設計が作ったとしか思えんのです。これ、多分、阪口先生も法律の専門家ですからあとで答えがあると思いますが、ほぼ、同じ資料、2 人で見ています。でも、そう説明しないと、籠池さんの証言の天真爛漫さ等々が説明がつかないんですね。そうでなければ、おっさん、よっぼどの詐欺師ですよ。(会場 笑)

菅野 でも、そんなことないんですから。けったいな人ではありますけどね、実際。(会場 笑)

菅野 これ、こないだ、とある新聞社がうちに来て、こうやって資料を新聞社と共有した現場の写真なんですけども、この 3 人、某新聞の「森友チーム」ですけども、この書類の山を見ながら、おんなじこと言うてました。キアラと藤原が悪いと。キアラと藤原が悪いけど、もっと悪いやついるよねっていう話で、それはこの人ですね。(会場 笑い)

「全自動付度機」はおそろしい

菅野 この人(昭恵夫人)です。キアラと藤原は悪いと僕も思います。財務省をペテンにかけ、森友学園をペテンにかけ、国有地ビジネスに手を出したんだろうなと僕は思っています。それは今の僕の仮説なんですけれども、これをこれから追っかけていこうと思っているんですけども、そのペテンが成立し得たのも、財務省の人間が業者にメールを送るときに、「いつもお世話になっております、瑞穂の國記念小學院建設のためにご協力ありがとうございます」というようなわけのわからんメールを送るのも、この人が名誉校長になったからなんですよ。しかも、これ、あんまり誰も言わない。宮本先生が国会で一回、言って

らっしゃったのを僕は見た記憶がありますけども、土地取引が行われている最中だとわかっている中で、その利害関係当事者の役職に就任するって考えられないこと



報告する菅野 完さん

でしょう。これ、冷静に考えたらわかるんです。やれるはずがないことやってのける。官僚はそれは顔色見ますよね。顔色見たら、とととととと、と話は進むわけですよ。付度という言葉がはやりましたが、僕は、もうこれは「付度」ではなくて、これは「全自動付度機だ」と思います。

(会場 笑、拍手)。

菅野 安倍の顔を見た瞬間に、ああってなってしまうということなんですね。「全自動付度機」の中心におったん、昭恵さんなんですよ。その全自動付度機が右回転をずっとととととたわけです。いざこざがあって全自動付度機の芯の昭恵さんに100万円の件で籠池のおっさんが弓を引きよったわけです。そしたら、今度は全自動付度機が左回りになった。(会場 笑)

菅野 いや、そうでしょう。ぐるぐる回るとととたんが、ぐるぐる反対になって、ぐるぐる右に回って上に上がった人が左回りでグーッと下に落ちていってのはんです。あと、もう1カ月待ったら小学校の校長先生になってはった人が、ふた開けたら6月、今「俺、いつ逮捕されんのやろ」ってビビってのはるわけでしょう。こんな天国と地獄、たった2、3カ月で味おうてはるわけですよ。「全自動付度機」、恐ろしいですね。(会場 笑)

昭恵氏はみんなの前で話を

菅野 もうそろそろ僕の持ち時間がなくなるんで、最後の話し、最近、腹立ったのはこれ(昭恵氏の映像)なんですよ。去年の7月にジャパントイムズの取材を受けて、「天皇陛下からホームレスまで誰とでも話ができる、つながりを作っていけるというのが私の強み」というコメントを昭恵氏は寄せているわけですよ。ま、えーわいさ。天皇陛下と話せえよ。ホームレスとも話せえ。ホームレスをばかにしすぎやなと思いますけどね。天皇陛下とホームレスと話す前に国会出てきてみんなの前で話せんかいと。

(会場 拍手)

菅野 そういうことだと僕は思います。最後、何か知らんけど、腹立ってヤンキーみたいなしゃべり方になりましたけど、(会場 笑)

菅野 あとに阪口先生がうまいこと

まとめてくれると思いますので、これで終わりにいたします。(会場 拍手)

阪口 ありがとうございました。もっとしゃべってもらえれば、もっと面白い話が出てくる。これは、二部のほうでお願いしたいと思います。ゴミがなかったという問題は、配布した資料に「近畿財務局は地中埋設物の撤去費用8億1900円と書かれていたが、地中埋設物はなかった」という「真相解明する弁護士、研究者会の調査チーム」がこれを報告しています。

3メートル以下(2万年前の土)から ゴミは出ない

阪口 簡単に言いますと、今、菅野さんが「考古学が変わる」という話をおっしゃいましたね。もともと大阪航空局の調査の中にも3メートル以上深くなると沖積層がある。沖積層とは(2万年前の)氷河時代の土なんです。3メートル以下は全部沖積層だ。こういう報告書、国は平成22年の段階で知っていたんです。にもかかわらず、近畿財務局は、去年の3月11日の日にこれだけごみが9.9メートルの地下から出てきました、と。やったのは実はボウリング調査じゃなくて、地中の改良工事というもの。それをやると、9.9メートルの下のごみは地上には上がってこないんです。こんなの当たり前の話。やったのは、今おっしゃられたような人たち。籠池さんは恐らくあのやり取りを知らなかった、任していた。知り合いのゼネコンの担当者に聞くと、この写真見ただけで「これはもう全くウソだ。こんなこと、何で航空局や近畿財務局がわかるのか」、というんですね。普通は全部、何月何日、どの場所でどの現場で出たか、ゼネコンであればその証拠写真を撮影するんです。ところが、大阪航空局に出したのはボーンと積んだ写真なんですよ。彼らはプロですよ。これを知ったうえで、「あ、ちよどいいのが出てきたと。じゃあ、負けてやろうか」。負

けてやる理屈も極めてずさんなやり方をしています。ゴミの混入率の計算も極めて恣意的です。

結論に合わせた計算、誰が？

これは不動産鑑定評価書ですけども、この混入率がよく国会で議論



建設中の瑞穂の國記念小學院

になってますけども、47.1%のごみがあったんだと。しかし、47.1%の数字は、どこにもないです。平成21年の大阪航空局の調査によると、平均混入率は20%なんです。高いところの地点だけをポッポポッポ拾い上げた。こんなばかなことをプロはしないです。坪単価も結論があるから合わせないかん。私どものほうでは、民間に「本当にゴミがあった前提にして、そのゴミの撤去を委託したら、どれだけの費用がかかるのか」積算してもらいました。これでいくと3億7000万円だった。約4億5000万の過大見積もりをしているんです。これはどう見ても先に結論がある。国土交通省や大阪航空局は「プロが算定した」と言っていますが、プロが算定してないんです。別の要素が入ってるんです、これ。私どもはゼネコンの担当者に聞いたら「ばかだ。何ちゅうことするんだ」とわかるわけです。だから、最後に菅野さんが籠池さんのメールを公表してわかったように、ゴミはやっぱりなかったんだ。私は籠池さんのメールを知らない段階で、公表されてるデータからこういう調査して「何でこんなばかなことがあるのか」と思っていました。籠池さんのメールを見ると、藤原工業、キアラ設計、酒井弁護士が、3メートル以下ないと言ってるんです。最初は3メートルの部分までのゴミはあったんですよ。それは中道組という大阪の中堅のゼネコンが、きちんと撤去してるわけです。で、調査報告書を国に出しています。この段階で「きれいに撤去しました。撤去した内容はこちらです」と、写真を全部出している。だから、近畿財務局はもう知ってるんですよ。それなのに1億3000万、金を払ってるんです。にもかかわらず、新しくまたゴミが出てきました。これは恐らく籠池さんがだました。籠池さんにそんな頭があるとは思えませんけども、(会場 笑)私どもの調査の結果、そういうことを考えた誰かがおる。それは許されないと思います。

阪口 次の問題、この事件の本質は何か、について一言で語ってください。木村さん。(会場 笑)

木村 一言って、難しいですね。(会場 笑)

一言でいえば「教育と土地問題」

木村 私が考えているのは、教育内容の問題だと思ってます。安倍晋三にとってのモデル校という位置づけであったと。籠池さんは菅野さんの言い方では、だまされた

という言い方ですが、それは僕もわかりませんが「利用された、ちょうどいいやつがおった」ということでベルトコンベアに乗せて、動かした、動かしたのは恐らく安倍政権と松井維新だと思う。大阪の話でいうと、そういう教育理念とあの土地を狙ったもんが絡んでいたのかなど。最後に一つだけ、豊中市民にとっては、あんな広いまとまった土地はないので、あの土地と建物、どないすんねんというのが、気になっている問題です。誰かがどっかに転売するという話なら、これはとんでもない話になりますので、そこは注視していかなあかんなと思ってます。森友問題の本筋とはズレるかもしれないけども。(会場 拍手)

阪口 では、続いて宮本議員、お願いします。一言(笑)。二言でもいいですよ。

宮本 一言で言いますと、この事件の本質は安倍首相及び安倍昭恵さんによる行政の私物化だと思います。(会場 拍手)

会場 男性 そうだ！

ウソ、でたらめ、危険な政治

宮本 今、加計問題が出ていますが、安倍さんの腹心の友であるとか、奥さんが名誉校長をやっておれば行政がゆがむんだと、いうことを示す事件だったと思うんです。大きく言って3点、ゴミが埋まっていたのがウソだ。8億2000万の値引きがゴミとは何の関係もないというのは、国会答弁で早々と出ています。3月24日、参議院予算委員会でわが党の辰巳議員に対する国土交通省の答弁は「売却時点のみならず将来見込まれる分も含めまして将来地下埋設物が出てくるリスクを見込んで、どれだけ価格を下げておくべきかということ地下埋設物の撤去処分費用というかたちで見積もった」と。現に撤去処分する費用を見積もったんじゃないなくて、将来どれだけ出てくるか、値段、どれだけ下げとくかを見積もった、というんですから、値段をどれだけ下げかの検討だったことなんです。だから、何の根拠もないのは明らかだと言わなければなりません。二つ目、2月24日までは安倍首相は籠池氏をかばってきたと菅野さんがおっしゃいました。その後は、もうウソつきでとんでもないやつだと、こうなるんですね。今、加計問題では、今年の1月まで前川さんという人が事務次官でありました。「面従腹背も限度があるという」面従腹背を

やっていた時にはこの人は事務方トップだったんです。今は安倍内閣にとって、この人は最低の人間で、いかかわしい場所に入出入りしていた信憑性の疑わしい、(会場 笑)と。

宮本 だから、この話はもう覆いがたい矛盾があるんです。彼らに従順ならばいい人。ひとたび刃向かえばろくでもないやつと。こういうふうには安倍政治は変わるわけですよ。今、共謀罪法案で一般人は大丈夫だと。一般人と犯罪者とは別だと言いますが、線はどう引くかといったら、これは政府が、捜査当局が引くんです。つまり、その物差しは刃向かわない限りは一般人なんですよ。(会場 笑)

刃向かえば犯罪者になる。こういう、まさにでたらめな政治が示された事件だと思います。

宮本 最後に、安倍政治の危険性を示す事件だったと思います。「日本会議」について菅野さんから出されましてけれども、「日本会議」の危険性は、この事件だけにとどまりません。安倍首相が今年の5月3日、改憲を9条に第3項をつけ加えることによって解決するという案を出しましたが、これは「日本会議」が先に発表して、これを安倍政権が採用したものだと明らかになっています。(会場 拍手)

阪口 休憩に入る前に菅野さんをお願いしたい。

小選挙区制の恐怖・日本の中世化・メディアのふがいなさ

菅野 僕は3点あると思っています。1点目は、80年代の終わりから90年代に吹き荒れた「行政改革と政治改革」というものがことごとく失敗だったということが、この事件で判明したなというのが一つです。要は、「小選挙区制と内閣人事局」というのは、「恐怖の化合物」だったということです。2点目は、安倍首相が2月24日まで教育観が似ていると言っていたあの薄気味悪い教育の内容。「戦前回帰」という言葉が一部、リベラルメディアの中でもはやされておりませんが、僕は全くそうは思いません。僕は「日本会議」を誰よりも深く研究したという自負がありますが、彼らの念頭の中にあるのは戦前を美化することではないんです。単に「左翼憎し」だけなんです。僕は「アンチ左翼ムーブメント」と名付けているんですけども、この「アンチ左翼ムーブメント」の悲しい帰結が「安倍首相

がんばれ」及び、教育勅語教育。3点目は戦前回帰ではないといいなながらも、やはりこれは日本の中世化だと思っています。戦前どころか、これは中世なんですよ。

江戸幕府でもないんです。室町幕府以前ですね。日野富子が勝手に街道に関所を作って、ないないぼっぼしてたっていう。基本的に昭恵さんがやってはることって日野富子なんです。 (会場 笑)

菅野 ミャンマー行って学校作って寄付してきた、その寄付、加計さんからもろてはりますからね。加計さんからもろたお金、そのままミャンマーの現地の子に渡すわけですよ。臆面もなく自分の本に、「菅野綾子先生から教えてもらったんだけど、寄付はしかるべき人に直接現金で手渡すべきだ」って書いてはるんです、100万円、自分で渡してたやんという話ですよ。そのウソを追及できないですよ(メディアは)。日本の中世化なんです。最後に僕のポイントは、今日のテーマにむりにつなげるわけではないですけども、そんなでたらめな政権が5年近くも続いている理由というのは、ひとえにメディアがふがいないからです。(会場 拍手)

菅野 休憩前に、皆さん、お願いしたい。今日帰ったら官邸に電話して、「菅野を官房長官記者会見に出せ」言うてもらえますか？ (会場 笑、拍手)。

菅野 多分、僕が官房長記者会見に行ったら内閣終わると思うんですよ。要は、官房長記者会見で誰も質問せえへんからこうなってもてるわけですよ。おとなしいやないですか。理想の修学旅行生みたいですよ。(会場 笑)

メディアが仕事をすれば反動内閣はすぐつぶれる

菅野 先生の言うことじいっと黙って聞く。そういう人ばかりが記者クラブの中、大手新聞の中にたくさんいらっしゃるから、こんなことになってるんだと思います。安倍内閣は今回、加計、森友問題で日本共産党、民進党の良心ある議員、自由党、野党各党の良心ある議員が、安倍政権を追及すれば、もろくもボロが出ると、この半年で立証しきったわけですよ。残りはメディアがその仕事をすれば、安倍内閣なんていう反動内閣は、すぐにつぶれるはずなんです。

(会場から そうだ! の声 拍手)

菅野 それができないのは、ひとえにメディアの体たらくで、その端っこのほうで飯を食べる自分も反省材料とはしたいとは思いますが、それは僕の問題意識です。

(会場 拍手)

阪口 ありがとうございます。大体結論が出たよな感じになってしまいました。(会場 笑)

第二部 討論

阪口 質問も兼ねて討論を深めていきたいと思います。この学校は最初に「安倍晋三記念小学校」だと語られた。実際はその資料はないんですが、菅野さんにお聞きしたい。本当に安倍晋三小学校という看板なり、寄付集めていたのかどうか。

菅野 いや、集めてましたよ。(会場 笑)これですね。これ、「記念小学校設立に向けて」って平沼赳夫さんの顔写真と一緒に、振込票があります。払込取扱票に「大変あつかましいお願いでございますが、2口以上(1口1万円)のご寄付をお願いいたします。なお、ご寄付を賜りました方には、安倍晋三記念小学校の寄付者名簿にお名前を刻印し、顕彰させていただきます」と書いてある。

阪口 本当だ。ありがとうございます。これ、ホームページか何かに貼られてる？

菅野 いや、貼られてないです。これは僕が保護者の方からお借りした資料です。

阪口 これが証拠ですね。ぜひ、公表していただきたいと思います。

この問題は安倍昭恵さんが校長になって、重要な役回りを果たしているんですが、安倍昭恵さんは財務省やいろんなところでどういう役割を果たしているのか。

菅野 僕、さっき、「全自動付度機」と言いました。安倍昭恵さんの顔色をうかがう。この間から、元 TBS の山口敬之さん(官邸担当記者)の事件(女性への強姦事件)で北村滋さんという官邸の秘書官の存在がクローズアップされてますけど、もう一人、官邸に有力な今井さんという秘書官が

いるんですね。今井さんは経済産業省の役人なんです。最後、エネルギー庁の長官一步手前だった、経済産業省の中で出世された優秀な方なんですけれども、彼が官邸を取り仕切っているんです。僕が官邸の職員の人に話を聞いたら、今、官邸の中に昭恵さんの部屋があるらしいんです。第2次安倍政権以前はなかったんです。

阪口 (笑)、それはひどいな。

菅野 昭恵さんのオフィスがあって、昭恵さん付の秘書が常勤と非常勤合わせて6人いるらしいんですよ。谷査恵子さんは、今井さんが経済産業省から引っ張ってきた人です。今井さんが巧妙なのは、引っ張ってくる秘書官役の人が皆、ノンキャリアなんです。要は、汚れ仕事をさせて傷がついても出身官庁には傷がつかないようにしてるんですね。谷さんも東大卒業ですけど、あの、昔でいう国 I (国家公務員試験1種)を通過してらっしゃいませんのでノンキャリア採用ですよ。谷さんはめちゃめちゃ優秀らしいですよ。昭恵さんに一生懸命尽くされる人が6人ぐらいいらっしゃる。その人たちが自分たちの出身官庁と連絡を取り合って昭恵さんが拾ってくる陳情、要請を処理しているということですよ。

阪口 官邸のほうは、安倍昭恵の公務員の秘書が手紙をやり取りしたことを、「勝手にやったんだ」と、言っていますが、国会での答弁ではどうですか。宮本さん。

官邸に昭恵さんの部屋

宮本 安倍昭恵さんが公人か、私人の立場かという議論がありますけど、安倍昭恵さんが24時間、全部公人であるとは言いませんが、少なくとも、この事件にかかわった安倍昭恵さんのやったことは首相夫人としてやったことであり、職員がついてやったことなんです。それで、谷査恵子という安倍昭恵さん付の職員は、常日頃から官邸の封筒を使って、「安倍昭恵夫人付き、谷査恵子」というかたちで籠池さんとのやり取りもやっていました。籠池さんからも封筒が提出されていますから、首相官邸の仕事としてやったことは明瞭です。それ



会場からの質問に答えて

から、田村嘉啓という国有財産審理室長との関係で、去年の3月15日にごみが出てきたとねじ込んで、1時間半、財務省でやり取りして値引きが始まって売り払われた。この田村嘉啓と谷さんとの関係はどうであったか。田村嘉啓氏は、私のところになかなか来ませんでしたが、音源データがついに表に出るということになって、私のところにやってきたんです。そのときに1時間半ぐらい、田村本人から聞き取りました。谷査恵子さんから、田村嘉啓国有財産審理室長のところに電話がかかってきた。電話の用件は、「安倍内閣が1億総活躍ということで、女性を活躍させるために介護施設に、国有地を貸し付けている場合、その賃借料を10年間、半額に負けるという政策を森友学園に適用できないか」ということでした。籠池さんの願いであるということで谷さんが田村嘉啓に打診してきたと、こういう話でした。「でも、谷さんは、何者か名乗ったでしょう」と。「名乗りました」と。「何と名乗りましたか」と聞いたら、「安倍昭恵付の谷査恵子と申しますと述べた」と。「ということは、安倍昭恵さんのおつきの人から問い合わせだという認識はあったね」と聞いたら、「そら、そう名乗りましたから、そうだと思います」と。

で、話の中身が介護施設に適用されている、この借地料半額にする話を学校に適用できないかと尋ねてきたということでありましたから、「じゃあ、その案件は森友学園の案件だということは、あなた、ピンときたね」と聞いたら、「もちろん、ピンとききました」と。だって、借地で学校、国有地を借りて学校を作る話は森友学園が初めてですから、その時点で学校にも適用というのは森友以外に言うてくることはありませんから。田村嘉啓は、もともと安倍昭恵さん関連で念頭にあって話が進んだ。あの答えのファックスもあった。翌年3月15日の面談はまさにあった。つまり、昭恵氏がここにかかわったことは明瞭だと言わなければならないと思います。



菅野 完(すがの たもつ)さん

で、話の中身が介護施設に適用されている、この借地料半額にする話を学校に適用できないかと尋ねてきたということでありましたから、「じゃあ、その案件は森友学園の案件だということは、あなた、ピンときたね」と聞いたら、「もちろん、ピンとききました」と。だって、借地で学校、国有地を借りて学校を作る話は森友学園が初めてですから、その時点で学校にも適用というのは森友以外に言うてくることはありませんから。田村嘉啓は、もともと安倍昭恵さん関連で念頭にあって話が進んだ。あの答えのファックスもあった。翌年3月15日の面談はまさにあった。つまり、昭恵氏がここにかかわったことは明瞭だと言わなければならないと思います。

阪口 この背景には「日本会議」があるという話が、菅野さんからも報告がありました。「日本会議」メンバーはどんな人物が入っているんですか。

菅野 これ、僕の本、『日本会議の研究』売ってま

す。

阪口 本があるのか(笑)。みなさん、買ってくださいね。(会場 笑)

菅野 買われた？おおきに、ありがとうございました。(会場 笑、拍手)

菅野 ちょっと勘違いしたらあかんのは、籠池さんが「仮面ライダー」に出てくるショッカーのように「日本会議」の指示を受けて、ウィーッて言うて、あの学校作ったわけではないんです。(会場 笑)

菅野 「日本会議」という組織のドグマがあって、そのドグマに忠実に作ったわけではないんですね。「日本会議」という悪の組織があって、学校を作る計画をやっていたという、子どもでもわかるような話やったらいいんですけど、もっと恐ろしいと思うのは、さっき言いましたように、籠池さんは「受けると思ってやった」というだけの話で、

「日本会議」でやってることは、籠池さんをして、受けると思ってやったという、その時代の空気を作るのが、「日本会議」がやってることなんです。何が何でも安倍首相を支持する人はたくさんいてはりますよね。「株の値段さえ上がってたらええねん」とか、「雇用統計さえよかったらええねん」とか、

いうて、株の値段もそう上がってないし、雇用統計もそうええことないんですけども、それでだまされてはる人、ぎょうさんいてはりますよね。その人たちが目をつぶってるんですが、たくさんありますよね。

メディアに影響を与える「日本会議」の手法

例えば、憲法改正の内容や、あるいは教育基本法の改正であるとか、それを「黙り得るものなんだ」というレベルまで、みんなを慣れっこにしてしまってるのは、「日本会議」がやってることだと思います。どうやってるかっていうと、櫻井よしこ、ケント・ギルバード、百田尚樹、これ、よく最近、「海外のメディアから日本会議って何ですか」と説明されて、どの国の人も膝を打つ話なんですけども、梅田の紀伊國屋もやってるかもわかりませんが、新宿の紀伊國屋の本店の1階のレジに行くと、大きな模造紙で「今週のベストセラー」って貼ってあるんですね。大体、1位見たら、

池田大作か大川隆法なんですよ。(会場 笑)

菅野 これ見て、世の中の人、誰一人として、ああ、大川隆法の本、よう売れてんねんと思う人おらんでしょ。これは幸福の科学の人が組織で買ってはんねんな、池田大作の本が売れてたら、創価学会の人が組織で買ってはんねんな、そやから、1位、2位は、これはほんまのベストセラーちゃうねんと思うじゃないですか。3位見たら、百田尚樹が入ってるんですよ。これ、誰が買ってんねんて話ですよ。『日本会議』の人がこうてはるんですよ、創価学会の人らみたいに。ほんまに売れてるわけちゃうんですよ、これ、暗に俺の本もそうやって買え、言うてるんですよ。(会場 笑、拍手)

阪口 それは内容があるから買ってええね。(会場 笑)

菅野 ただ、その百田尚樹、ケント・ギルバード、櫻井よしこ、と並んでるベストセラーを見てみると、あたかもこういう論調が、今、世の中に受け入れられてるんだと思ってしまうじゃないですか。それを一般の皆さんが思われるのはしゃあないです。紀伊國屋はパブラインていうて、出版社、メディアの人間に今週の本が売れたをデータで提供してるんです。恐ろしいのは、その

データを見て、メディア側の人、櫻井よしこって人気あんねんや、百田尚樹って人気あんねんやって勘違いしてしもてるんですよ。だから、何もしゃべられへんのに、百田尚樹が『朝まで生テレビ!』出てくるわけですよ。(会場 笑)

菅野 で、何もしゃべられへんのに、櫻井よしこが、あの上品なしゃべり方してるだけで、ご意見番みたいな感じになるわけですよ。でも、その実、売れ方は大川隆法の本が売れたり、あるいは池田大作の本が売れたりしてるのと変わらんです、メカニズムはね。なぜ、それに気づけなかっていうと、それは『日本会議』という組織が背後にあつて、そういう人たちが組織的に買い支えてるんだってメカニズムをみんな知らないからですよ。これ、自分の本またほめてるんですけど。(会場 笑)

菅野 僕の本が出たから、今後は、そのペテンはもうと

おらないと思ってるんですけども、一説によると、菅野が『日本会議』に火をつけたから、『日本会議』を使おうという機運がメディアの中にはあるみたいで、痛しかゆしやなと思ってるんです。(会場 笑)

阪口 これ、日本のブラック、裏が出てきつつあるんですが、『日本会議』は神道を主にやってるのに、何で創価学会が自民党と一緒にやるのか、という質問があるんですが、宮本さん、この点どうですかね。(会場 笑い)

政治は利害欲得で動く

宮本 政治の世界は、宗教で結びついていないわけじゃないと思うんですよ、いわば利害欲得、損得勘定で動いておりますから、安倍内閣は公明党との関係でも、また、維新は公明党と全く同じように与党化しておりますから、そういうかたちで、われわれ「悪政三兄弟」と言ってますけれども、(会場 笑)...

ひっついてるということだと思います。今の閣僚には、たくさん『日本会議』の議員が入っていますが、自民党という党が『日本会議』のようなイデオロギーを持ってるというわけじゃなくて、中には随分批判的に見ている方々もいっぱいいらっしゃると思います。

この人たちの目は右にゆがんでいる

宮本 もう一つ言っておきたいのは、この『日本会議』、『日本教育再生機構』という団体ですけど、2月26日に意気投合したこの団体はずいぶん特異な考え持っているとこでして、今、育鵬社の教科書を作ったところだという話がありました。この人たちの言っていること、この人たちの目というのは、ものすごく右にゆがんでるんですよ。(会場 笑)

宮本 この人たちの論を聞いていると、世の中、教科書は全部左に偏つてると。(会場 笑)

宮本 つまり、育鵬社の教科書以外の東京書籍も何とも全部左翼にいかれてるんだと。教科書の執筆者は全員左翼なんだと、だから、そんなものを子どもに使わせるのは問題で、育鵬社の教科書をわざわざ作るわけですよ。この採択を広げなければ、子どもは左向いて全部ゆ



阪口徳雄弁護士(右)とアシスタントの愛須勝也弁護士(左)

がんでいくんだと。次は学校、マスコミとかいいまして、ごく一握りの特異なメディア以外は、全部左に、・・・

菅野 「産経新聞」で、ちゃんと言うといたほうがええんと違います？（会場 笑）

宮本 最近では読売も名前をよく聞きますが、それ以外、全部、左翼にいかれていると見てるんですよ。そして、学校の教員も全部左翼にいかれてると。だから、塚本幼稚園が教育勅語教育で育てても、公立の学校いったら全部その芯が揺らいでしまうと、これは昭恵さんも言うてましたね。

菅野 そうです、そう言うてます。

宮本 だから、世の中、公立学校でやるってことは、皆、左に偏ってんだと。だから、左に偏らない小学校を作ったかったってことなんですよ。あわよくば、中学校、高校、大学まで、教育勅語やり続ける子育てをやるうじゃないかっていうのが、これがこの人たちの考え方なわけ、籠池さんがどれだけそれに信奉したか別として、考え方としてはそういう考え方なんです。だから、世の中、そんだけ全部左に偏ってて、みんな共産党ばかりやったら、そろそろ政権取ってもらわなあかん。（会場 笑）

菅野 そうです。そのとおりです。（会場 拍手）

宮本 何でこんだけ苦勞するのと思うんですが、しかし、誰もそうは思わんでしょ。（会場 笑）

宮本 そう見てるってことなんですよ。それくらい時代錯誤、非常識な考え持ってるってのが、この人たちの考えだということをつけ加えておきたいと思います。

菅野 それはちょっとあれですけど、

阪口 はい、お願いします。

「日本会議」は女、子どもが嫌い

菅野 宮本先生がおっしゃったように、宗教じゃないんですよ。思想でもないんです。左翼が嫌いっていうメンタリティなんです。ほんまにそうなんです。もつとそれを突き詰めていくと、左翼でもないんです、女、子どもが嫌いって話なんです。女、子どもの理屈が嫌いなんです。これ、もう短くまとめますけども、皆さんも考えていただき

たいんですけども、いわゆる皆さんが右っておっしゃる方々いるでしょ。あの人たちは、日本と韓国の問題があったら、韓国のことをだいたい非難されるというイメージ、皆さんお持ちだと思いますけども、よう考えてください。あの人らが騒ぐの「慰安婦」問題だけでしょ

菅野 「日本会議」の周りの人ら見てると、「慰安婦」問題ばかり気にしはるんですよ。それは何でかっていうと、「慰安婦」問題というのは、まさに、女、子どもの問題やからですよ。何で彼らが教育に力を入れるかっていうと、教育は、女、子どもの現場だからなんです。女、子どもに自分たちの言うことを聞かせたいということなんです。これは、自民党よりもその色に色濃く染まってるのは大阪維新だと思ってる。その証拠に、国政政党でただ一つ所属の全国会議員に、日本会議の改憲署名の配布を義務づけているのは、大阪維新の会だけなんです。自民党でさえ、

そんなことしてないんですよ。大阪維新の会だけがやってる。僕の本が出たあと、大阪維新の国会議員が、誰とは言いませんけども、ま、言わんとこ、（会場 笑）

菅野 言いませんけども、日本会議の職員と一緒にあって、参議院会館の中で自公、維新、全員の事務所

の中に僕に関する、怪文書をまいてるんですよ。やることがものすごい幼稚で田舎臭いんですけど、「日本会議」というのは、特殊な思想で戦前に回帰してるんだという、ちょっとデマゴーギーな考え方を頭から除いて、あの人らは、おっさんらの中によくいる、「女、子どもは黙つとれ」ということを言いたい、左翼嫌いのおっさんなんやというふうに見てください。全部説明つきます。（会場 拍手）

阪口 単純明快な論理でよくわかりました。財務省が交渉記録は1年未満で廃棄したと、この点については宮本さん、国会で質問されて、どう考えたらよろしいでしょう。

パソコン開けたらすぐわかる

宮本 はい。「記録の廃棄問題」は、一番、焦点になってきたことですよ。忘れもしません、2月24日、衆議院予算委員会、テレビ中継がありました。私は、この資料で



討論の宮本岳志さんと木村真さん

「2014年9月4日に午前10時から12時まで、こういう会議をやった記録文書がある、これ事実やっただろう、近畿財務局でやっただろう」と迫りましたが、佐川局長が「そのような書類はすべて廃棄して、ごさいません」というので、「まさに隠蔽じゃないか」という話から始まったんです。去年6月20日に売買契約を結んだら、それ以前のは全部捨てるんだという話でありますけれども、しかし、申し上げたように、10年分割払いの契約をやってるんですから、払い終わってないですからね。(会場 笑)

宮本 それを早々と捨てたら、あとから払いが滞ったりして、訴訟になったらどうすんのかというようなこともありますから、全く不当だと言わなければなりません。その後も、今の加計問題でも、まさに文書問題が、大の争点になっていて、今、民進党からも「公文書管理法の改正」の提案があって、私たちもそれは大いに共同して、法案考えようじゃないかと、やっていますけれども、見ている限りにおいて、自分たちの都合のいいようなものは出てきますから、文書は残ってるんですよ。都合の悪い文書はなくなってる、廃棄したと言うてますけど、それは廃棄してないんで、今、再調査っていうことやってますけど、「調査のやり方をこれから検討したい」と。ばかなこと言うなど。(会場 笑)

宮本 そんなものパソコン開けたら中に入ってんの決まってるんですわ、文科省の文書というのはね。余談になりますが、3日ぐらい前に、私、松野文部科学大臣と、別件で会う機会がありまして、帰りに彼が僕に握手を求めるので、手を握った瞬間「ちょっとパソコンの中見してくれますか」て言うたら、凍りついて、「勘弁してください」て言ってきましたからね。(会場 笑)

宮本 本当にないんだったら、「どうぞ、どうぞ」と言うべきところ、「またまた、勘弁してください」と言うところを見たら、あるんだなど、これは。

(会場笑)、(拍手)。

宮本 誰が見ても、あるところにあるんだなど。だから、こんなものは直ちに表に出すべきであって、廃棄などはされてないものが、僕は大半だと思っております。



宮本岳志さん

(会場 拍手)

阪口 質問の中に、私ども「弁護士の研究者の会」の訴訟内容についての質問があります。

「大阪地裁にデータの保存せよ」という訴訟を起こしました。「デジタルフォレンジック調査」というのがあるんです。パソコンから消去しても、どっかに残ってるわけですが、それ以上消去しても、なお残ってるんですね。そのデータを全部保全、「デジタルフォレンジック調査をして、再現せよ」というものです。NHKもいろいろ問題ありますけれども、6日の12時のニュースで報道されました。まあNHKもいいところもあります。(会場 笑)

阪口 私どもがそういう訴訟を起こしています。国に対して「裁判所が答弁書を出せ」と、いうことで質問状を出しておるのですが、本当は削除はしていない可能性はあるのではないかと。恐らく、紙ベースではあるのかどうか。それから、パソコン上の情報として、WordとかExcelにあるのかどうか、もう一つは個人がいろいろ面談したときの筆記。例えば、森友学園の人とか、誰かから、国会議員から連絡があったときに、担当者がまず文書に書いて、それを必ず報告するわけです。国の省庁は組織ですから。そうすると、必ずパソコンに残っているはず。それを財務局長がしゃーしゃーと「全部廃棄しました。1年未満だから直ちに処分した」とは言ってます。契約期間が10年になってるわけですから、まだ終わっていない。こんなばかな話はないということで、今、本訴と仮処分をしています。

宮本 一言いいですか。

宮本 考えていただきたいんですけど、犯罪捜査になったら、逮捕するためにはパソコンから消去しようが何しようが、それをデータ復活させて、ありとあらゆることやるわけですよ。

本当の消去はパソコンにドリルで

菅野 だから、小渕優子さんはドリルで穴開けたんですね。(政治資金問題で自宅捜査前に)

宮本 そうや、そうです。(会場 笑)

宮本 小渕優子さんはパソコンにドリルで、だから、ドリルでパソコンのハードを破壊するようなことをしなければ、完全に消去できないわけであって、それを「消去しまし

た」で済むっちゃうのは大きな間違いであって、しっかりその点も追求していきたいと思っております。

阪口 菅野さん、何かありますか。

地方は文書管理しっかり

菅野 はい、二つあります。僕、この本書く前は15年、日本でサラリーマンやってて、個人情報情報を大量に扱う会社だったんですね。そういう会社はご存じだと思いますが、Pマークっていう経済産業省がやってる規格に合致しなければいけない。で、ISMSっていう国際規格があるんですね。これはものすごい文書管理規定っていうのがあるんですよ。よく大阪維新の人たちが、「民間では考えられない」というんですけど、僕はあの言葉大嫌いで、逆に、民間ですらそれぐらいのことするんですよ。それを役所がやってないことはあり得ない。昨日おとついびっくりしたん、加計の問題で、今治市が持ってる文書出てきてるんですよ、民進党の調査で。それを国が持っていないって言うんですね。安倍内閣はずっと「明治以来の官制大改革」いうてるんですけど、今回、それが叶ったなと思いました。明治以来初めて中央政府より地方政府のほうが文書管理しっかりしてるということなるでしょ。（会場 笑）

菅野 頭のええのはみんな地方において、中央はアホばかりです、いうてるようなもんやないですか。何が言いたいかっていうと、僕ら民間でサラリーマンやってる人間からしたらあり得ないんですよ。役所は僕らに偉そうに「ちゃんと管理せえ」というてきてるわけですから。やってないわけでしょ。政府の言い分を信じるんならば、今治市にあったもんが国にないというんでしょ。これ、モラルハザードなんですよ。誰もこんなまじめに仕事しようと思えなくなりますよね。

会場 そうだ、そうだ。

菅野 あほらしいですよ。僕、来年の税務監査に捨てましたって言うたろかな。

（会場 笑）

菅野 ねえ。で、領収書全部白紙で出したろかな。

（会場 笑）、（拍手）

阪口 ありがとうございました。

なかなか話が面白いので、もっと話してもらいたいぐらいですが。

阪口 文書の問題は、隠蔽そのものだと思います。

当時、安倍首相は「私が関与していた、また、妻が関与していたら議員を辞める」と、見えを切りましたね。

何であんな大見えを切ったんですかね。 宮本さん、どうですか（会場 笑）

言いたい放題で追いつめられる

宮本 僕、籠池さんが証人喚問で谷査恵子さんのファックス暴露した直後に、よく「プライムニュース」か何かに出たんですよ。そしたら、「これは言いすぎなんだと、こんなこと言わなくてよかったんだ」、「関与しても金を受け取ってなかったら辞めんでいいじゃないか。それを、何でわざわざそこまで言いすぎたのか、リップサービスが過ぎたんだ」みたいなコメントをする人がいるんですけど、そうじゃないと思うんですよ。安倍さんの手法というのは、そんなふう言い切ることによって、「そこまで言ってのにまだ追求すんのか」といって逃げてきたんですよ。加計問題でも「もし私が圧力かけてたら責任取る、もし事実無根だったら、あなたどうするんですか」って、福島瑞穂さんに迫った（笑）。つまり、そのことによって、もう言わさないと。総理大臣が辞めるとまで言ってるのに、まだ追求すんのかと。そんなことやってるから支持率下がるんですよみたいなことを、（会場 笑）

宮本 言いたい放題言うてきたわけですよ。ところが、こうやって事実が出てきたら、まさにそれが自分の首を絞める結果になってる。そういう意味では、彼の策が裏目に出てるといえるか、彼の打った策を国民の側が、前川喜平前事務次官とか、籠池さんとか、最初は面従腹背だった、最初は仲よかったけれども、「もうこれは黙ってられん」という人が暴いてきた結果、逆に追い詰められる結果になっているということだと思います。（会場 拍手）

阪口 この点、木村さん、何かご意見ありそうですね。（会場 笑）聞き入ってたらあかんで、あんた、パネラーやからな。（会場 笑）

木村 いやいや、全くそのとおりなんです。面白いなーと思って。あの発言は2月17日やったと思うんです、民進



菅野 完さん

党の福島さんの質問に答えて。僕、提訴したのは2月8日で、9日、10日の金曜日に明らかになって、13日が月曜日で、それぐらいから追及が始まってね。

宮本 私、15日に始まりました。

木村 はい。(会場 笑)

木村 だから、あの発言があった時は、まだ余裕があった。僕がテレビかネットか見た率直な感想は「ぬるい質問しとんな、このおっさん」と思いながら見てたんです。さっきの振込用紙についても、「安倍総理が悪いと言ってるんじゃないんですよ。総理が悪いと言ってるんじゃないんですよけれども、これちょっとどうなんですかね」みたいな感じの、どう言ったらいいんですかね。

菅野 あの福島さんは元経済産業省の頃、安倍の元秘書官だったんですよ。

菅野 民進党の福島伸亨がね。これは癒着してることを言うてるんじゃないしに、文教族で厚生族の安倍晋三を自民党は育てなければいけないと。どうも頭が悪いと。

(会場 笑)

菅野 経済産業省の役人の中で、政治的な判断ができて、頭のええやつをつけてくれとあって、福島さんがつけられたんです、たった半年ですけど。そのときから安倍さんは福島さんに頭上がらへんのですよ。それを見越して、あの嫌みなしゃべり方をしている、あれはあの二人だったらわかる嫌みなんです。

打ち切りの手法と恫喝

木村 なるほど、そういうことやったんやな。そこまでわからなかった。ただ、率直な印象としては、「せっかくええネタあんのに、この程度しか突っ込まれへんのか」みたいなことを思いながら聞いてた。だから、別に全然追い詰められた感じでもなく、答えに窮して、ケツまくって、開き直ってって感じではなく、余裕しゃくしゃくで答えてるような流れの中で、「いや、もう、そんなもんね、私や妻がかかわってたら、これはもうはっきり言うときですよ、総理大臣はもちろん、国会議員も辞めますと、これは間違いなくはっきり言うときですよから」と。だから、本当にびっくりしたんです。この流れで何でこんなこと言うのかなと思った。



木村 真さん

宮本さんおっしゃったように、これはある種、恫喝やなど。「もう、絶対やってへんいうたらやってへんねん、はい、もう、この話これで終わり」という。

宮本 つぶしたかったんです。

木村 でしょうね。ということはすごく感じました。

菅野 ただ、思うのは、その手法は橋下と松井がやり続けてる手法ですよ。(会場 笑、拍手)

菅野 「俺がここまで言うてんねんから、何でおまえらわからへんねん」。それしか、基本、言わんでしょ。これ、松井と橋下がやり続けてる手法や言うんですけど、これは実を言うと、DV夫のしゃべり方と全く一緒なんですよ。

(会場 笑、拍手)

菅野 これ、女の方はわかると思うけど、モラハラするやつとDVするやつって、みんなこのしゃべり方するんですよ。「俺が言うんやから大丈夫や」。実を言うとこれが僕らが今、「右傾化」とざっくり言うてるものの本質やと思うてるんです。10年前に大阪、兵庫の人は、この言い切り政治、維新型のこの言い切り政治の洗礼を受けたと思うんです。今、その焼け野原を大阪と兵庫は立ち上がろうとしてるんです。(会場 笑)

災禍が大阪から官邸へ

菅野 その災禍が、どんどん東へ上がって行って、今、箱根の山を越えて、官邸の中へ入ったのが安倍政権なんだらうなというのが、僕の認識なんです。実を言うと、いやいや、そんな言い切ったって意味ないからということというのは、無理やり今日のテーマに結びつけるんじゃないんですけども、もちろん議員の先生方のお仕事でもありますけど、僕ら言論人の仕事でもありますよね。「おまえら言い切って何か言うたつもりになってるけど、何も言うてへんで。言うたことにはちゃんと責任取ってや」と、突きつけていくのは僕らの仕事ですよ。(会場 拍手)

宮本 つけ加えまして、その同じ口ぶり、つい最近聞きました。義家(弘介ひろゆき)という文部科学副大臣。(会場 笑)「私が確認していないものは、行政文書じゃない」と。

菅野 そうそう。

宮本 まあまあ、大体そういう人たちが、

(笑)。

菅野 そういう人たち。(会場 笑)

阪口 司会は要らんですね、これ。(会場 笑、拍手)。

かけ合いで二人でやってもらったほうが。(会場 笑)

菅野 木村先生も。

阪口 ああ、木村先生も。(会場 笑)

阪口 また、質問がたくさんきて整理が大変ですが、「工事を請け負った藤原工業と松井大阪維新の関係とか、何かがあるんじゃないか」という疑問、質問があるんですけど、この点はわかります？

菅野 だったら面白いなと、僕、思います。(会場 笑)

菅野 維新が悪いと思うのは、土地取引とか、建物の契約とかではなくて、私学審議会で維新が悪いと思っています。行政を腐らせてしまった、この10年間で、大阪維新は。安倍の顔を見る中央官庁よりも、役所で暴れる、ほたえる、大阪府の役人も、市の役人も、維新のチンピラ議員たちにもう萎縮しまくってるんですよ、何言われるかわからへんと。これは、中央で行われたことは付度だったかもわからへんけど、大阪、淀屋橋と天満橋で行われてるのは付度ちやいますから、恐喝ですからね。もう完全に恐喝。その恐喝で10年間、もう大阪市役所も大阪府庁も疲弊してしもてるんですね。だから、とおりがらい私学審議会の認可がとおってしまったし、もっと言わなければいけないのは、今になって大阪市は森友学園はおかしいとかいうてるでしょ。「うそつけ。おまえら、今まで、毎年監査しとったやないか」と。毎年、監査して、毎年、実地検査行って、なおかつ、保護者からこんなことされた、おむつそのまま持って帰らされた、イヌ臭い言われた、弁当捨てられたっていう声、聞いているわけですよ。それをことごとく無視してたわけですよ。それを無視してたんは、森友学園と行政がもめたら、先生に怒られるという萎縮が、付度ではなくて、萎縮、恐喝がずっとあった。そういう意味では、維新は悪いですけども、僕が調べたところ、今回のい

わゆるコントラクト、契約の部分で、維新の政治家うんぬん、かんぬんっていうのはあったら面白い



し、言うてはる人ぎょうさんいてはるけど、なかなか見つからないし、その証拠に、籠池さんが維新好きやと思えます？ (会場 笑)

菅野 あの人バリバリの自民党支持者ですよ。生まれてこの方、自民党以外書いたことないのが、あの人の取り柄なわけですから、もちろんいろんな先生とのおつき合いはおありでしたけども、ズブズブというのはないと思います。ただ、行政の側での維新というのは、ちょっと長い時間のかかるテーマだと思いますけども、必ず決着をつけるぐらい追いかけていたいと思っています。(会場 拍手)

宮本 維新の関係ですけど、

阪口 はい、どうぞ。

大阪維新は大々的に森友応援

宮本 ここに持ってきたのは、大阪市の資料ですが、24年2月21日とありますから、2012年2月21日、つまり2、2、6の直後ですけれども、このとき、維新は塚本幼稚園、森友学園を大の応援をしているときですよ。塚本幼稚園が隣の公園を使って子ども遊ばしていた。それで、地域の町内会が、塚本幼稚園の専有みたいになってるから、われわれ町内の者も使えるように、花壇を作ってくれという話になって、大阪市は一旦、そういう方向で動きかけたんですが、そのときには籠池さんがそれは困ると言った。そしたら、大阪維新の会の大阪市会議員、村上栄二と市位という議員2人が同席をして、大阪市に対して恫喝のような発言をした。「そういう工事は中止せえ、地元総意ではないんだ」と言って食ってかかった。そのうちの1人は、今もう福山のほうに行って大阪にはおりませんけれども、議員も辞めて次の選挙のために遠いとこ行ってしまってるみたいですが、この当時、自分のブログには、「そんなこと、もしやったら、俺がただではおかんぞ」みたいなことを書いていた大阪維新の会の市会議員がいたことからすると、当初、維新の市会議員、府会議員は、この学校、この教育勅語教育を大々的に応援していた事実はあります。

菅野 それはそうです。籠池さん側の証言からいうと、これは森友学園側から頼んだんじゃないんですよ。維新側から「言いに行きませ」って言いに来たそうです。

菅野 福山へ帰っているほうの選挙のポスター見たら「大阪で修行してきました」と書いてある。(会場 笑)

宮本 …修行？

菅野 修行。これ、福山市民やったら怒ると思うんですけど、大阪市民も怒らなあかんと思うんですけど、修行の場なんですよね。「橋下さんと同じここにあります」言うたら通ってた時代があったわけやないですか。その結果、ネコでも杓子でも議員なれたわけでしょ。ネコでも杓子でも議員になれて、なったことを根拠に地元へ帰って、大阪で4年間修行してきましたって。大阪市政、大阪府政って無名のチンピラの修行の場かかって話ですよ。(会場笑)

菅野 大阪市民をだいぶ愚弄してる話で、ただ、ここ10年間、そういうことが大阪ではまかり通ってたわけですよ。今の自民党は圧倒的多数を議席で占めてますけれども、前回の衆議院選挙で当選してきた圧倒的多数の議員って、多分、その乗りですよ。安倍自民やったら政治家になれると。

宮本 もう一つ(笑)。その話で思いました。

宮本 この議員が選挙に出たのは、福山の市長選挙だった。

菅野 市長選挙、そうそう。

宮本 だったでしょ。で、彼は負けたんですよ。だから、今、市長でもなければ議員でもないんですけど、この選挙で勝ったほうの人は、実は近畿財務局長をやっていた方です。

菅野 そうそう。

宮本 そやろ。(会場笑) 近畿財務局長やってた人間が福山の市長選挙に立った。それを追っかけるように、この人間が福山の市長選挙に立って争うて、この維新の市議員は負けたわけで、とおったほうは近畿財務局長。

菅野 そうなんす。「縁は異なるもの」言うてる場合ちゃいますけど。(会場笑)

木村 その私学課、私学審議会の話や利権がらみの話で言うと、『週刊金曜日』の報道では、摂津のJCのからみで、藤原工業なんか置いといて、顧問弁護士も含めて、維新系の人があちこち連れてきたと。学校、たなざらしになってる土地とか建物を、その辺で転がしていくような話があるんちゃうか。その辺での維新の関与というのは、ど

んなふうによ？

維新と森友の利害関係は不明

菅野 みんな、小佐野賢治と田中角栄のイメージを持ちすぎなんです。精巧なプロットがあって、児玉誉士夫みたいな人物がいて、ぐるぐるお金を回してると。信濃川河川敷を右から左に回してピーナッツが飛び交うみたいなことをみんなでイメージしすぎなんですけど、僕は、阪口先生も僕とおなじだけの資料を読んではいませんが、読めば読むほど、何で、こんなしょうもない話だろうという印象しか抱けないんですよ。さっき、ちょっと話してたんですけど、維新との関与もあると思います。どういう関与かいうたら、例えば東京の人が「僕、彼のこと知ってるんだ」ともし、言うて東京の人は「あ、これは何らかの政治的メッセージだな」っていうことで真剣に受け止めます。で、この人は何らかの意図があって僕に誰かのこと知ってるっていうことを言うてきてるんだらうと。だから、そのコミュニケーションの裏を読もうとしますが、大阪のおっちゃんとおばちゃんは違いますよね。「知ってんねん、こないだ電話してん。」(会場笑)

菅野 「こないだもあんなこと言うてはってん」っていうながら。ただし、摂津JCがらみの人々の緊密さ、特に維新の足立議員を中心とした酒井弁護士、藤原工業、この3者の変なつながりというのは実際、あろうと思います。この変なつながりというのは、恐らく森友事件はワンオブゼムで、掘れば掘るほどいっぱい出てくるだろうなあと思います。だから、森友事件も、そのプロットによって動いたんだとは、にわかには断ぜられない。なぜならば、酒井弁護士の登場があまりにも遅すぎるんです。うがって考えると、酒井弁護士が摂津JC人脈でやろうとしていたのは、9億円の土地を1億円にすることでなくて、もう籠池のおっさん、あかんの目に見えてるから、あかんようになったあとの話のために入ってきたんちゃうかなというように思えてならないんですよ。これ、ほかに言わんといてください。(会場笑)

菅野 内緒の話ですよ。3月10日に籠池さん、記者会見しましたよね。僕が「あんたが菅野さんか」と言われる記者会見ありましたね。あれは、「今日、本日づけで大阪府私学課に提出していた設置認可を、自ら取り下げま

した」という話やったんです。取り下げるから記者会見すると。僕がそこで思ったのは、稲田朋美の旦那の稲田龍示が全部プロットを書いて、あの土地をただで手に入れようとしてんのかなと、当初は思いました。だから、それをぶつけたら、籠池さんは「違います」て言うた。言うたけど、そのとき、あの2時間の記者会見で1回だけお茶飲まはったんです。弁護士の名前を出したら。絶対弁護士やなと思うて、後日、「あれ、誰に知恵入れられて取り下げたんですか」と聞いたら、「酒井弁護士や」言うんすよ。酒井弁護士が「このままいったら藤原が倒産するから取り下げたってくれ」。そんなこと、普通の人やったら、「いや、そんなことないやん、関係ないやん」と思うじゃないですか。でも、当事者である籠池さんは、舞い上がってはりましたから、そういうこともあろうかということで、娘の町浪(ちなみ)さんに命じて酒井弁護士と一緒にはんこを持って大阪府に出向いて取り下げの紙に署名捺印して帰ってくるんですね。不思議なことに、あんだけの資料の山をどんだけ探しても、その取り下げの紙のコピーがないんですよ。もろて帰ってきてないって言うんです。あの記者会見が終わるでしょ。で、籠池理事長と長男の佳茂さんが、こう下がって座ってはるでしょ。佳茂さんが終わったあと、酒井弁護士に、「これでよかったんですね」て言うたら、「はい、これでよかったです」て、酒井弁護士、言うたらしいんです。「これで藤原助かったんですね」て念を押したら、「いや、あれの件ね、大丈夫やったんすよ」。(会場 笑)て言うたらしいですよ。これ、裏取ってないですよ。これはあくまでも息子さんの佳茂さんの証言だけです。

なぜ、取り下げたか

菅野 ということは、酒井弁護士は、どう考えても主体的にあの土地を手放すように、あの案件を手放すように顧問弁護士の立場でありながら、設置認可の申請を取り下げる助言したわけです。そのとき、酒井弁護士は大義名分として、「このままいったら設置認可がとおらないから」ということを言うてたらしいです。もしとおらなかったら、森友学園が財務省なり大阪府なりを相手取って損害賠償請求すればいいだけの話であって、本来、弁護士であればそれを助言するはずですよ。なぜかしら、そういう助言

をしている。これは極めて不思議です。もしこれが籠池さんサイドの話のとおりであれば、酒井弁護士は懲戒請求されても不思議じゃないと思いますね。

阪口 ありがとうございます。森友問題は大変深まってきたんですが、次の質問「加計学園問題はいったいどういう問題なんだ」があります。これは、宮本さん、お願いします。

森友問題よりはるかに巨大

宮本 ご承知のとおり、加計問題というのは、文部科学省は、金曜日に文書の再調査ということを行いました。ただ、これも安倍内閣のお尻に火がついてきているということです。このまま、「調査しない」と開き直つてると、支持率が急落する恐れがある。目前に迫っている都議会議員選挙で惨敗する恐れがあると。だから、とにかくこの国会、共謀罪法を強行して早く閉じなければならんと。加計学園の追及をかわさなきゃなんない。僕が見たところ、恐らく再調査中、再調査中と言い続けて最後まで逃げようという策略だろうと思っております。そこまで、世論が追い詰めてきたと思います。この問題は、森友問題よりはるかに巨大です。

一気に結末へ

宮本 そして一気に結末までいったわけです。前段では、「友達やから優遇したんじゃないのか」、「森友そっくりやないか」っていう質問がずっと繰り返されてた。ただ、そっくりだからといって決め手に欠けますから、みんなじりじりしてたわけです。その入口のところ、福島瑞穂さんの質問に対して「そんなもん、もし私が圧力かけてたら責任取りますよ、あなた、学校の名前まで出して責任取れるんですか、事実無根だ」ってなこと言って逃げようとしたわけです。ところが、最終盤になって、あの文書が出てきた。「総理のご意向。官邸最高レベルが言ってんだ」と。こういう話でありますから、一気に、間にいろいろなもの挟まずに、「ほら見ろ、やっぱり圧力かけたじゃないか、総理の意向で決まってるじゃないか」って話になった。しかも、籠池さんの場合はただの民間人。この加計問題のほうは前川喜平、前文部科学事務次官で、1月まで国会で、役所で事務方トップだった人だし、天下りあっせん問題では何度も国会に来て答弁した人です。民間人だから呼

べない人じゃなくて、今、出てきてもらって語ってもらうのに何の問題もないのに、ここが今、ネックになっているんです。

岩盤の穴は誰のため

早い話がこの問題の焦点は何かというと、岩盤規制に穴開けて、五十何年ぶりに獣医学部を認可した。「岩盤規制に穴開けて何が悪いんだ」と聞き直っていますね。岩盤規制に本当に穴開けてもいい岩盤かどうかは、よく見なあかんのですけど(会場 笑)

宮本 岩盤に穴開けるってことを一律に問題だという話ではない。開けたほうがいい穴なら開けたほうがいいでしょう。しかし、今回のこの岩盤規制に開けた、この穴というのは、加計学園、加計孝太郎さんしか通れないように、加計孝太郎さんの顔の形に穴を開けたと。(会場 笑)

宮本 ぴったりパズルに合うように。だから、京都産業大学もだめにした。僕は金曜日、大阪府立大学獣医学科に行って、詳しく聞いてきました。ここは既に学部があるんですけど、定員が40名のところを60名に、あと20名増やしたいと申請したけど、こんなん全然だめ。増やす条件ないと。ほか全部却下です。どういうわけか、この加計のところ落ちた。じゃあ、そこへどんなかたちで加計さんしか通れない穴にしたかっていうと、二つあって、広域的に獣医学部がない地域に1校に限るとした瞬間、京都産業大学は、府立大学があるからだめと、はじめたのが一つ、もう一つのフィルターは、来年4月開校という条件つけた瞬間、もう準備してないところは、土台無理なんですよ。早い話が、信じがたい話ですよ。だって、今年の4月の20日頃に加計さんとこに、決定してるんですけど、来年4月、大学作らなあかんわけです。で、森友でも「条件付き認可適当」出てからでも、やっぱり無理で1年、2年伸ばす話になったじゃないですか。今度は、これ、大学ですよ。1月の20日時点、加計に決まった瞬間、学校法人加計学園は今治市に土地を持っておりませんでした。まだ、今治市の市有地だったんですよ、1月時点では。3月3日、3月議会の冒頭で37億円分の市有地をただで無償譲渡してやるということを議決して、やっと、何の議論もなくただただ裁決だけやってくれてやった。おまけに64億円つけて今治市が応援してやるという話になっていくん

ですね。これはむちゃな話なんですよ。土地も持ってないところが1年後には開学するなんてできるわけがないんですが、それをやらせた。だから、この文書、内部文書見たら、文部科学大臣は「ちょっと無理じゃないですか、18年4月開学は。19年4月にすべきですよ」と。こういう意見を上げてるわけですよ。ところが、内閣府からは、「いや、これは総理のご意向だ。来年4月、18年4月開学から逆算して仕事せえ。おまえらはそんなこと言う立場じゃないんだ。総理がもうそこで決めてんだから、それに間に合わせるために仕事せえ」と言われて、これまたスケジュール表まで作られたと言うてますけれども、全部そこに合わせて走らされてるわけですね。

男たちの悪巧み

だから、結局、これも安倍さんのご意向に沿って、安倍首相の腹心の友といわれる加計孝太郎さんに便宜を図ったということです。一昨年12月の安倍昭恵さんのブログには、安倍首相と加計孝太郎さんのワイングラスか何か持って「男たちの悪巧み」という写真が載ってます。

(会場 笑)

宮本 そういう悪巧みをして、加計孝太郎さんに落ちるように制度設計したとしか考えられない。そして、「そうなんだと、そういう圧力があつたんだ」と文部科学事務次官が語ってるわけですから、これは明らかにしなければ絶対、国民は納得するわけにいかない。そして、その人を何かうさん臭いとか犯罪者扱いするところに、本当にこの内閣の体質が示されていますし、そんな内閣に逃げ切りのように共謀罪を強行する資格は断じてないということうを申し上げたい。

(会場 拍手)

阪口 ありがとうございます。この会はメディアを監視をする会なんで、(会場 笑)

阪口 加計学園問題で、読売新聞が、前川氏が出会い系サイトに行ってるというのを大きく報道した。

菅野 サイトちやう。出会いカフェ。

阪口 カフェか。(笑)。そういうマスコミの在り方について、森友問題も含めて。菅野さん。NHKが前川問題のビデオも撮ってるのに報道してないとか、そういうことがあるんですか。

NHKの報道

菅野 こないだ記者仲間と話をしたら、ほんまに加計、前川さんのインタビューを撮ってたのも、あの文書を知ってたのも、ほんまの話らしいです。朝日新聞は加計の問題を朝刊にどんと出しますが、NHKが夜のニュースにちらっと流したんすよ。アリバイ作りかのように。しかし、その中ではあの総理のご意向文書が映ってるんだけど、「総理のご意向」のところに墨が入ってるんすよ。この墨はNHKが入れてるんですよ、恐らくね。でも、そのニュース原稿の中に加計学園の「か」の字も出てこないんす。

阪口 読売新聞は。

読売・毎日・「日本会議」

菅野 今、それをどない説明しようかな思うて。あれ、完全に新聞としての死ですよ。だって、官邸がこう書けって言うたとお。 「あれは大本営発表みたいや」って論説してるんですけども、別に肩を持つわけやないですが、大本営は「あれを書くな、これを書くな」とは言いましたけど、「これを書け」って言うたことないんですよ。大本営が言うてたことは、「この情報をおまえらに与えるから、書くのかどうかはおまえらの自由だ」と。書けとは言わないんですよ。書くなどは言うけども書けとは言わないんですけども、今の官邸は、「これを書け」って言うわけでしょ。読売新聞は、それを唯々諾々として書くわけでしょ。これ、もう完全に新聞の死でしかありませんよ。僕はその問題で言論の死だという論説をあちこちで書きました。これ、ちょっと皆さんに見てもらいたいですけども、貴重な資料でございます。見にくいかもわかりませんが、下、見れますかね。「全国民の声を無視する毎日新聞を買わないようにしましょう」って書いてあるんですね。これ、誰が配ってたビラかっていうと、今から約40年前に「日本会議」の前身である「日本青年協議会」が元号法制定のときに配ってたビラなんです。元号法制定運動のときに、何をやったかっていうと、新聞の上に昭和何年、平成何年って日づけ載りますよね。新聞って大概、2017年、括弧、平成29年何月何日って書いてあるんですけども、このとき、毎日新聞は、元号めんどくさいから、西暦だけでいこうって元号をなくしてたんですよ、元号法制定前にね。そしたら、「日本会議」の人が怒って、「毎日新聞へ抗議

の電話をしましょう」という運動やったわけですよ。で、毎日新聞、これでひよるわけ。何でこのスライド、皆さんにお見せしようとしたかという、「日本会議」の人たちは言論の力で時代の空気を作ってる話を、先ほど、本の話でしましたけど、彼ら、この運動好きなんですよ。次の僕の本のテーマになる予定の「NHK番組改変問題」ってのがありました。安倍晋三と中川昭一がNHKの従軍慰安婦の番組に介入したという問題ですが、あれもそうなんですけども、彼らは、メディアは市民からの声に弱いつてことを知り尽くしてるんですね。読売新聞、産経新聞みたいなことを書くのは、言論人というか、筆を持つ人間としては恥でしかありませんよ。あんなもん、恥辱なんですよ。でも、その恥辱を平気でやっていけるのはなぜかっていうと、応援の声が届くからです。そうすると、あれを恥辱だ、産経新聞や読売新聞のようなことをやるのは恥辱だということをちゃんと理解できる市民の皆さんがやれることは、いい報道をしたら、おほめの言葉をメディアに届ける。だめな報道をするとこまめに抗議する。だって、「日本会議」はそれで天下取ったんですから。彼らは3万人しかおらんのですよ。それがこれできるんです。

「日本会議」、今日のようにこんなに人集められませんよ。
(会場 笑)

メディアを市民の側に…激励を

菅野 いや、ほんまに。皆さんのほうが、多分、パッションもモチベーションもあると思うので。例えば、昨日今日ですと、官邸の菅官房長官ブリーフィングで孤軍奮闘の戦いを見せている僕の盟友である東京新聞の記者がおりますが、固有名詞を出すのはあれですけども、お調べになったらわかると思いますけども、彼女に叱咤激励の声を東京新聞、中日新聞に届けてあげる。あるいはNHKが勇気を持って、最近、文部省の動き、加計の問題やりますけど、「NHKよくやった」って声をかけてあげる。だめなことしたら怒るよりも、よかったらほめてあげるってほうが重要やと思うんですね。いい報道が出たらほめてあげる。いい質問をしている記者見つけたら、あんたとこの記者いいねとほめてあげることを、僕は地道に続けていくこと、それと、菅野の本を1冊でもたくさん買うことが…。

(会場 笑)

阪口 質問の中でも「メディアの改善のためにどうしたらいいのか」というのがありましたが、見事に答えていただきました。最後に、森友及び加計学園問題も含めて、どういことをわれわれがすべきなのか、また、したほうがいいのか。木村さんから。

木村 メディアの話で言うと、大阪と東京でずいぶん温度差あるんじゃないか。それと現場の記者と、もっと上の段階で相当温度差あるんじゃないか、という印象です。この間、僕も取材をたくさん受けたんですけど、3月に産経新聞から取材に行きたいと電話かかってきました。こっちは「産経新聞が、何しに来よんねん」という気持ちで・・・(会場 笑)。僕の事務所、見られても何もないよ、(会場 笑)

木村 若い社会部の人が来はったんですけど、普通のこと尋ねられて、「ほんならこの辺で」となったときに、「いや、率直に言いますけど、僕、産経新聞が来るということでめっちゃ構えとったんです」と言ったら、「いや、それは時々言われるけど、東京の政治部とかは別にして、大阪の、それも社会部とか別に関係ないですよ」と言われたんです。ぶっちゃけた話で言えば、産経新聞に行ってる人の中の相当数は、例えば朝日新聞受けたけど落ちた人とかも混じってるのか・・・。(会場 笑)

社の方針はあるとは思いますが、現場の記者はみんな、それなりに頑張ってるんやろうし。NHKの人も大阪のNHKはすごい頑張ってるなっていう印象を持っています。

裁判の傍聴にご参加を

木村 今後のことについては、去年の9月に開示請求したら黒塗りで出てきた件で、今年の2月8日に提訴しました。その後、もう黒塗りの契約書が、国会でオープンにはなってるんですが僕の手元には届いてないんです、それで裁判が続いています。厳密に言うと裁判そのものは「公開せえ」ということでなくて、去年の9月に「一部非開示」という決定が出ていて、「その決定の取り消しを求めろ」という裁判なんです。そうしたら国のほうが争ってきたんです。平たく言えば、「去年9月の時点で非開示と決定した、その決定に誤りはない。その後、公開したのは、不当に値引きしてるかのような誤った印象、疑念を抱かれて

るんで、それを払拭するためにその後公開したんであって、当初、非開示と決定したその決定には誤りはない」ということで争ってきてるんです。結構面白い裁判になりそうです。当初、電話でイケダさんとやり取りしたときに、イケダさんがはっきり「相手方が公開しないでくれて言うてる」と言ってたし、その後、国会での答弁でも森友側が非公開を強く望んだと説明してましたけども、籠池さんは、「いや、自分はそんなこと言ってない。むしろ、財務省のほうから非公開にもできますけどどうしますか」と言われたから、「ああ、そうだったら非公開でと言っただけです」と言っていて、そこが食い違っています。それから、「森友側の正当な利益を損なう恐れがある。それで非公開にした」と言ってるんですけども、その正当な利益って何やねんと。こちらに言わせると、それは不当な利得なんであって、そこも争点になってくるということで、森友問題の土地売却に関して言えば、核心的な部分で争いになると思いますので、面白い裁判になりそうです。来週の木曜日、6月15日、3回目の公判が3時半から大阪地裁の202号大法廷で開かれますのでぜひ傍聴にお越しいただきたい。

松井知事の責任追及も

木村 それに合わせて、その日の昼の12時から1時までの間、大阪府庁前で「松井、出てこい」ということで、(会場 笑)

木村 松井知事の責任を追及する集会です。松井知事は完全に人ごと扱ってますので(笑)、「いや、こっこそ国に振り回されてえらい目におうたわ」みたいな対応してますから。とんでもない話やなど。松井が一枚かんだに違いないということで。国会の証人喚問も「いやあ、国会に僕を呼んでくれたらいいんですよ、いつでも行きますよ」とかって言った。(会場 笑)

それは呼ばれないとわかってたからで、大阪では、大阪維新の反対で、百条委員会の設置もできないという状況なので、松井知事の責任追及するということです。

署名にもご協力を

木村 あと、お配りの資料の中に、署名用紙が入っています。近畿財務局、背任罪で刑事告発してます。高度に政治的な問題ですので、ほったらかしにされる可能性も

あります、その署名を集めていますので、ご協力いただきたい。いずれにしても、森友問題、終わってないんじゃないかと、始まってないと言いたいと思います。しかるべき人物にしかるべきかたちで責任を取らせる作業をみんなの力でやっていかななくちゃいけないと思います。

(会場 拍手)

阪口 時間がもう迫って、宮本さん、一言。(会場 笑)

宮本 皆さん、知ってます？3月10日の記者会見では、籠池さんの息子さんに、木村さんは「反社会的集団なんですよ」と言われた人。それを共産党と朝日新聞が応援して、よくここまで頑張ってきたと、(会場 笑)

宮本 思っておりますが。メディアの問題、一言だけつけ加えますと、5月3日に安倍首相は読売新聞に改憲の構想を打ち出しました。5月8日、国会の場で読売新聞を熟読してほしいという答弁をいたしました。真に受けて自民党の議員たちは熟読したそうでありますが、(会場 笑)

宮本 そうすると、5月22日に前川喜平さんが出会い系バーに出入りしているという記事が1面に載って、ああ、こういうことだったのか、これは、そういう前置きだったのかと思ったというぐらい、読売新聞はもう自民党の機関紙のような状況にまで墮落してると言わなければならないと思います。メディアにかかわって、私、遺恨のあることがあります。もう一つだけ言っておきたい。フジテレビの番組で、私はあるジャーナリストと激しいバトルになりまして、山口敬之という(元)TBSの…(会場 笑)

宮本 森友問題で私が語ってるときに、横から「籠池さんとは何で組んだんですか」とか口を出し、「組んだ覚えはない、証人喚問で堂々と向かい合いましたけど、別に私は籠池さんと仲間になったわけではない。真実を明らかにするためにやり取りしただけだ」というのに、食ってかかってきた。そのときはそのときだったんですが、そのあと、私の部屋にアポなしにやってきまして(笑)、翌日、質問の準備やってるというのに、「とにかく会ってくれ、わびたいから」と言うから出ていったら、わびるどころか、また議論ふっかけてきて、いや、もう、帰ってくれと追い返した。それ、全部ICレコーダーに取ってて、あとから、「宮本というのは部屋に逃げ込んだと。人間のくずだ」と言われました。(会場 笑)

宮本 それはほっといたんです。私は安倍首相と対決してきたんで、横から、「さあ勝負と言われて、あんたと勝負するつもりはない」と。(会場 笑)

宮本 今、ご承知のとおり、この方の準強姦罪が明らかになって逮捕寸前で官邸の力、当時の警視庁刑事部長の中村なにがしの力を借りてもみ消したことが問題になっています。勇気あるその女性が検察審査会に告発しています。この問題でも、官邸に覚えめでたい人間なら逮捕をもみ消してもらえるんですよ。そして、ひとたび官邸にいらまされたら、この間まで事務次官やってても、こんな男、怪しい男だと言われるんですよ。そんな内閣に共謀罪法なんて渡すわけにいかないじゃありませんか。(会場 拍手)

文科省には「喜平隊」がいっぱい

宮本 財務省の職員と、今、加計で私のところに呼ぶ文科省の職員では、全然違うという感触を得ております。財務省は森友で呼びましても、職員自身が全部、佐川理財局長みたいな人ばかりです。文科省は違います。「喜平隊」というんですけど、前川喜平さんの喜平を取って「喜平隊」と呼ばれる、前川さんを信奉する人たちが残ってる。私の部屋に来て「私、喜平隊です」って言う人、いっぱいいます。(会場 笑)

宮本 今、現役職員も語り始めた。それは何ですかと聞かれますけれども、私は銭金ばかり相手にしてる役所と、子どもを相手にしている役所では、それは違うでしょうよと、こう文科省を一応ほめてあげてるんですが、(会場 拍手)

宮本 「財務省が何であそこまでえげつないのか、佐川という人は、何であんな冷血漢なのか」とよく聞かれるけれども、これは少し背後の闇の動きがありまして、菅野さんから安倍さんに経産省の役人があてがわれている話がありました。安倍さんは今、経産省優遇なんです。経産省優遇で今井さんも経産省、谷査恵子さんも経産省。経産省は官邸に一番食い込んでる。そのおかげで消費税増税が二度にわたって先送りされてしまった。財務省は何があろうが消費税増税したいと考えておりまして、今度の佐川局長の働きによって、次の増税はできるのではないかと、彼らはそう考えてる。そんなことでわれわれの暮らし

にかかわる問題が決められてたまるかっていうのが、皆さんの思いだと思います。(会場 拍手)

宮本 これらは本当に今の目の前の政治問題に絡んでいるわけでありますから、共謀罪の廃案、安倍内閣の打倒まで、皆さんとご一緒に頑張り抜いてまいりたいと思っております。(会場 笑)

阪口 ありがとうございます。一言が三言、四言になりました。(会場 笑)

阪口 最後に菅野さんに一言。これこそ一言でお願い。

菅野 あと2時間ぐらしゃべろうかな。(会場 笑、拍手)。

安倍政権は議会制民主主義へのクーデター

菅野 国会はこの18日で会期末を迎えます。この国会で、森友問題で明らかになったこと。われわれ及び野党が出せという資料を政府はあざ笑うかのごとくすべて無視して出してくれませんでした。加計問題。政府はウソにウソを重ねて、内部文書の存否についても、「実名等をさらして顔を出せば逮捕してやる」と。まるで脅迫のようなことを言っています。共謀罪の恐怖。政府はわけのわからぬ法務大臣に答弁をさせ、法務大臣は答弁することがほぼ不能で、政府委員をして答弁をさせてる始末であります。これらのことが明らかにすることはただ一つ。「国会が完全にばかにされてる」ってことです。憲法は、明確に国会を国権の最高機関と規定しています。それはなぜか。国会に座ってる人が皆、普通の人々によって選ばれた人、所だからです。日本は主権在民の議会制民主主義の国です。安倍政権が今やっていることは、この原理原則を無視するクーデターと言わざるを得ないと思います。

会場 そうだ！(会場 拍手)

菅野 ここから先は、宮本先生と意見は対立するかも知れませんが、僕は、野党議員がこれ以上国会の審議に協力することは、このクーデターへの加担だと思っています。(会場 笑、拍手)。



街へ出よう

菅野 潔く審議拒否をして、安倍内閣がやっていることが議会制民主主義のじゅうりんであり、民主主義の根幹を崩すひどいことだと、野党の先生方は市民と一緒に声を上げてもらいたいと思っています。(会場 笑)

菅野 しかし、それはそれぞれの政党のご意向、国会の戦略があるから、かなわない夢だと思っていますが、僕は最後に、宮本先生にも聞こえるように、それから、いろんな野党の議員の先生に聞こえるように、議員の先生には「街に出ろ」と声をかけたい。(会場 拍手)

市民運動は効く、安倍政権は砂上の楼閣

菅野 そして、「街に出ろ」というかけ声を、皆さんにもかけたいです。僕は「日本会議」を研究しましたから、よく知っています。市民運動って効くんです。あきらめなければ効くんです。メディアにも声は届くんです。政治の現場にも声も届くんです。安倍内閣は強固に見えます。しかし、メディアがひるんでるから強固なんです。安倍内閣は砂上の楼閣にしかすぎません。

会場 そうだ。(会場 拍手)

菅野 メディアの人間が皆さんの声に支えられて勇猛果敢に戦うことができれば、野党の議員が皆さんたちの声に支えられて勇猛果敢に戦うことができれば、砂上の楼閣たる安倍内閣なんて、一晩でつぶれてしまいます。

会場 そうだ。(拍手)。

安倍内閣打倒は民主主義をとりもどす闘い

菅野 安倍内閣の打倒そのものが目的ではないんです。このたたかいは、われわれの手にもう一度民主主義を取り戻すたたかいだと思っています。(会場 拍手)

菅野 僕はこの戦いに必ず勝てると思います。あきらめないでこれからも頑張っていきましょう(会場拍手)

阪口 ありがとうございます。これをもちましてこのパネルディスカッションを終わりたいと思います。

3名の方に再度、拍手を。(会場 拍手)



「第41回メディアを考えるつどい」アピール

2017年6月10日

「森友学園事件 政府とメディアの幕引きを許さない」シンポジウム

私たちは、きょう、西宮勤労会館で「森友学園事件・政府とメディアの幕引きを許さない！」をテーマにシンポジウムを行いました。森友学園事件追及の第一線で活躍しているパネリストによって、事件の問題点が明らかにされました。

森友学園事件は、鑑定価格9億円余の国有地が8億円も値引きされて払い下げられた問題だけではありません。総理夫人・安倍昭恵氏が教育勅語を礼賛するなど教育基本法の理念に反する教育をすすめる「瑞穂の國記念小學院」の名誉校長に就任したことへの批判とあわせ、婦人付きの政府職員を介して国有地の払い下げに深く関与していた疑惑も指摘されています。

安倍首相の進退がかかる重大疑惑にもかかわらず、安倍夫人は沈黙を続けており、政府は財務省理財局の公文書を廃棄したと繰り返すなど、この事件の幕引きを図ろうとしています。

疑惑は何も解決していないのに、NHKをはじめとするメディアも安倍政権の意をくんだかのように報道を控えるようになっています。メディアは政権におもねることなく疑惑の追及をすべきです。

私たちは、この事件の解決のために安倍昭恵氏ら関係者の国会証人喚問を求め国有地の格安売却など、森友学園をめぐる一連の疑惑を徹底究明することを求めます。

そのための活動として、「証人喚問を求める署名」と「国有地売却疑惑の徹底した捜査を求める署名」の二つをおおきく広げ世論に訴えていくことを提案します。

さらに、森友学園事件に続いて浮上した加計学園問題は、安倍政権による公有地の私物化、政治の私物化という同じ問題であることが新たな証人によってもあきらかになりました。

また、安倍首相は5月3日、「日本会議」系の改憲集会に、「自衛隊の存在を憲法上に明記した9条3項を付け加える」というメッセージを送りました。

森友学園事件は、戦争する国へ憲法を改悪し、教育勅語を礼賛する戦前回帰の教育を実践しようとする「日本会議」のたくらみが明るみに出た事件です。

私たちは民主主義を守り、憲法改悪を許さないためにがんばります。

参加者一同

「安倍昭恵氏ほかの国会証人喚問を求める署名」 8671 筆

6/20 衆参両院議長に提出

ご協力ありがとうございました。

6月20日、醍醐聡さん（「視聴者コミュニティ」共同代表）と渡邊力さんが、全国からの署名を集約し、衆議両院議長へ秘書課を通じて提出しました。扱いは、次期国会で委員会への「陳情」として受理されるとのことです。醍醐さんは、国会閉会中の審査で迅速な取り扱いをするよう要望しました。



全国署名数 8621 筆 (5/20~6/19) (うちネット署名 927 筆)
うち兵庫の会 2600 筆 (30%) 250 通 (一部締め切り後も)

約1か月間の短いとりくみでしたが、「視聴者コム」の呼びかけに応じ、全会員に署名を訴えたところ、すぐに、たくさんのご協力を頂いたことは、「森友事件」への市民の批判がいかに高いかが示されたものと考えています。

「加計問題関連文書の徹底調査と安倍晋三氏ほかの国会証人喚問を求める」署名

新しい署名運動にもご協力を (用紙はニュースに同封しています)

- * 森友学園・加計学園をめぐる一連の疑惑を徹底究明することを申し入れています
- * ネット署名は：<http://bit.ly/2rOxgOd> へ。メッセージもよろしく
- * 署名集約先 650-0022 神戸市中央区元町通 6-7-6 茶本ビル 5 F 078 (351) 0194
NHK 問題を考える会 (兵庫)

6月13日 東京でも開催 (報告)

「森友・加計問題を考えるシンポジウム」に300人

コーディネーター



醍醐 聡
東京大学名誉教授

パネリスト



小川敏夫
民進党参議院議員



宮本岳志
日本共産党
衆議院議員



杉浦ひとみ
弁護士



青木 理
ジャーナリスト



満員の衆議院第一議員会館

- ★財務省は公証記録を公開せよ！
- ★安倍昭恵氏ほかの国会証人喚問を！
- ★メディアは疑惑の真相解明に迫れ！

あしがき

6月10日「森友学園の政
府・メディアによる幕引き
を許さない」シンポジウム
(西宮勤労会館)は、安倍
総理夫妻がからむ事件とし
て、疑惑追及の第一線で活
躍している3人のパネリス
トの話しに期待が大きく、
定員400人に対して50
0人以上の申し込みがあり
ました。「パネラーはベス
トチョイス」(宮本岳志議
員)と言われ、超満員の参
加者は、真相追及のリアル
な報告に、大きな拍手を送
りました。パネラーの話に、
「そうだ！」と共感の声や
笑いが起こり、活気あるつ
どいとなりました。
今回、会場の狭さから、
「申込制」をとりましたが、
初めての経験のため予約者
への返事が不十分など、不
手際がありました。今後の
教訓と致します。安倍政権
の政治の私物化は「加計問
題」でますます深くなって
おり、「森友事件」と合わ
せ、引き続き「メディア
と政府の幕引きを許さな
い」世論を大きくしてい
きましょう。菅野完さんが明
言しました。「メディアが
皆さんの声で立ち直れば安
倍政権は一晩でつぶれる。」